



昭和八年度事業報告

鹿兒島縣水產試驗場

昭和八年度水產試驗場事業報告

目 次

漁 拭 部

鰯漁業調査試験

趣旨、調査方法、期間、海區、經過、鰯漁業關係海洋横斷觀測、鰯漁場に於ける表面水温の分布と鰯漁況

春漁期に於ける枕崎及山川港に於ける漁獲高調査、七月以降に於ける枕崎港鰯漁獲高調査

枕崎港に於ける鰯魚型調査、漁業連絡試験表及漁場圖

南洋鰯鮪共同漁業調査(七、八年度)

概要、漁業表及漁場圖

旗魚延繩漁場調査

概要、漁業表及漁場圖

瀕魚漁業試験

概要、漁場別漁獲高、漁業表及漁場圖

製 造 部

鰯節製造傳習並試験

傳習、ねとかび豫防試験、湯割防止試験

大羽鮓利用製造試験

トマトソーラン製造試験、香味玉罐詰試験(香味)、浦洲白製品製造試験(味)

雲丹製造試驗

四四

紫雲丹製造試驗、馬糞雲丹製造試驗

淺草海苔製造試驗

四五

養殖部

淺草海苔養殖試驗

四七

趣旨、撰建時期、成長度、附着層、摘要、試驗地附圖

とこぶし移植試驗

經過概要

海產稚鮎連絡試驗調查

試驗表並附圖

五四

調查部

海洋觀測

橫斷觀測、觀測表並水溫比重分布圖、沿岸橫斷觀測並鮪漁況、觀測表、定點觀測

五七

鹿兒島縣水產試驗場昭和八年度事業報告

漁撈部

鰯漁業調査試験

(昭和八年度照洋丸)

趣旨 前年度に繼續し縣下重要漁業の大宗たる鰯漁業に關し春漁季中海況及び漁況を調査し民間船の出漁指導に任ずると共に新漁場方面の出漁調査をなし其の狀況を縣下當業者に速報し斯業の開發助長に資せり。

調査方法

試験船 照洋丸 五十五噸 七十五馬力

乗組員 主任者一名 無線通信士一名 船長以下廿六名

期間 自昭和七年三月二十六日

至昭和七年六月三十日

海區 七島附近沖繩近海及八重山南方漁區とし初漁季に於ては主として近海漁場の指導に任じ六月に入りてより八重山南方漁區の探査を終り

經過 昭和八年三月二十六日より六月三十日迄近海漁場に七航海八重山南方漁區へ二航海をなし鰯及鮪仔壹八、五八〇尾價格七千百四拾貳圓九拾八錢を得たり毎航海の狀況左の如し。

第一航海 三月廿六日午前八時四拾分鹿兒島港發櫻島にて生餌料鰯を活養し出漁廿七日間聞岬奄美大島笠利崎間横斷觀測を施行し北西風強吹せる爲め名瀬港避難し廿八日后十一時四十分全港發橫當島に向ひ二十九日前七時橫當島南西二浬點より針路西微南に航走中事故の爲め古仁屋に向け轉針せしも事故解決せる爲后二時十五分會津高崎より更に針路西微南に取り航走したるも水溫低き爲め針路西北西に轉じ后九時漂泊す。三十日前六時針路西北西に航走索魚し九時東北東に轉じ十一時細餌持魚群に會し餌付せず后零時三十分大魚群に會せるも細餌持にて

餌付せず二時四十分迄更に四回魚群に會せるも同様餌付悪かりしも夫れより三時迄鳥島北西四拾浬附近にて大魚群に會し餌付良好にて中鰐五百五十尾を釣獲し五時十分更に四百尾を釣獲し終漁歸途に就けり歸航中偶々臥蛇島に於て機繩故障にて假泊中の枕崎船大榮丸を曳航し四月一日前五時十分枕崎入港し漁獲物賣却し中鰐九百五十尾價格千四百三十一圓三十六錢を得たり。本航海中の水溫の概況を記すれば往航に於ては二十一度以上の水帶は琵琶瀬島以南より寶島附近迄擴り居たるも歸航に際しては口之島北方迄北上し來り漁場に於ける水溫徐々に上升し黒潮の北上の徵候を認めらる。本船の漁獲位置附近に於ける水温は二十二度八分乃至二十三度にして本航海中の最高水温帶なり。

第二航海 四月五日前八時半鹿兒島港發櫻島にて餌料鰯を活養し出漁六日前六時二十分全四十分平島タコにて解群あるも小鰐又は鮪混りにて試漁せず十一時半五號曾根南西方にて中鰐五十六尾釣獲す後壹時四十五分針路南に變更二時五分更に南々西に轉じ后四時オガソ曾根南西方にて中鰐百十七尾を釣獲す魚群濃厚なりしも海面風に失し餌付良好ならず六時四十五分針路南々東全九時漂泊す七日前四時半機動横當西十浬より西微北に航走索漁八時五十分魚群有るも小版魚にて百尾漁獲十時三十分中鰐大群に會せるも餌付旺盛ならず六十尾釣獲后二時五十三分漁群なき爲針路北東に變更后六時二十分漂泊す八日前五時半機動荒天となりたる爲針路東南東に航走后零時五十分惡石島着避泊九日前六時半機動全島發西微南に航走九時魚群あるも小版魚にて試漁せず后五時半オガソ曾根に至るも魚群なく續航后十時漂泊す十日前六時機動針路西南西八時針路西十一時半中鰐大群會せしにも餌付不良にて五十九尾を釣獲南東に航走し四時小版魚百尾を釣獲后五時歸途に就き十一日后九時四十五分枕崎入港十二日漁獲物を賣却價格四百四十六圓を得日鹿兒島歸着。

本航海の概況を記すれば前航海に比し水温の上昇顯著にして口之島北方にあたる二十一度線は口永良部附近迄北上しオガソミツ曾根附近最高二十四度五分を示し横當島近海は二十一度六分内外の水温にて全島西三十一浬附近より二十三度以上の水帶ありて北東流を示しオガソミツ曾根へ通じ一時間三浬位の速力を認められたるも四月八日及九日の低氣壓の連續通過の爲め横當西三十浬附近に有りたる二十三度線は同島五十浬點に退き二十一度以下の水帶は西方及北西方へ進出し漁場水温顯著なる低下を示したり七島北部漁場には小版魚群多く寶島附近漁場には中版魚群多きも餌付何れも良好ならず。

第三航海 四月十五日前七時櫻島にて餌料積込出漁十六日七島西側を南下し十七日前七時横當島西徑南六十浬附近魚群なく七時半針路南東微東に轉じ九時半魚群あるも餌付せず十時針路南東微南に轉じ十一時及十一時半魚群あるも小版魚にて試漁せず后一時針路南西微南に轉じ后六時北島島に假泊十八日前四時同島發北西に素魚八時三十分魚群あるも小版魚にて試魚せず九時魚群に會し小版なりしも餌付良好にて擬餌にて百尾を釣獲十一時千二百尾后一時三百尾后二時針路東に轉じ三時百二十二尾五時八百二十七尾合計二千七百二十七尾を釣獲し五時二十

分歸途に就き二十日前零時二十分枕崎入港漁獲物賣却價格五百三十三圓拾八錢を得。

海況 七島北部に於ては一部水溫の低下せる處有るも近海漁場一帶に二十四度内外の水帶瀰漫し水色稍々不良の所あり往航七島横當西沖には魚群少かりしも鳥島北西二十乃至五十浬海區には小版魚群夥しく濃厚にして餌付も良好なりき其の他近海漁場には魚群少し。

第四航海 四月二十四日鹿兒島港發櫻島にて餌料積込出漁二十五日南東風強吹波浪高く餌料の斃死續出するを以て臥蛇島に至り假泊二十六日後六時十五分同島發南西に航し廿七日前八時四十分横當島西北西二十四浬にて小版魚群に會したるも薄く三十六尾釣獲し十一時中鰹六十九尾后二時五十分小版六十七尾五時半小版五百尾釣獲後南西に續航后九時漂泊す廿八日前五時半機動針路西に取り索漁七時針路南東微東に轉じ十一時五十分小版三十七尾后二時半流水有るも鰹なく鱈小漁后三時大鰹九十六尾釣獲六時三十五分漂泊す二十九日前一時三十分機動針路西南西九時魚群に會し鮪仔二百尾を釣獲十時歸途に就き三十日正午山川入港漁獲物賣却價格三百一圓を得五月一日鹿兒島へ廻航。

海況及漁況 漁場に於ける水溫は全部二十四度以上を占め寶島西沖三十浬より五十浬位の幅にて北東に流るゝ二十五度以上の水帶有り臥蛇島附近より東北東流に轉じ種子島沖に向ひ流勢急なり寶島西六十浬沖合には二十三度七分の水帶有りて海色不良なり魚群は各所に有るも何れも濃厚ならず。

第五航海 五月四日前八時二十五分鹿兒島發海濶にて餌料餌を積込出漁途中開聞岬奄美大島笠利崎間横斷觀測を施行し五月五日后六時七分大島迄終了し横當西沖の觀測線へ轉じ繼續五月六日前七時四十五分横當西沖五十浬附近にて鳥付魚群に正午小鰹群に會したるも餌付せず后二時小鰹百五尾大鰯四尾釣獲觀測終了針路南に轉じ四時四十分針路南東后六時半鳥付魚群有りたるも漁獲なし后六時四十分南に轉針后八時漂泊す七日前五時半機動針路南八時五分より同二十五分迄小鰹七百四十尾釣獲十時針路南東后一時十分針路北微西后四時四十分小鰹百十尾釣獲五時三十五分西北西二轉針七時漂泊八日前五時二十分機動針路東索漁六時十五分大鰹四十七尾八時小鰹六百八尾十時十分小版七百四十尾釣獲歸途に就き九日后二時十分枕崎入港漁獲物賣却價格三百四十三圓八十七錢を得鹿兒島へ廻航し漁獲物の一部を賣却價格五十圓七十二錢を得。

海況及漁況 開聞岬より屋久島迄は表面水溫二十度より二十一度なるも屋久島以南二十四度以上にして大島迄同様なるも横當島西沖は稍低く二十三度七、八分北鳥島に至る迄同水溫滞留せり然るに五月八日歸途に於ける七島西側水溫は上昇を示し横當西五十浬乃至六十浬附近よりオガノ曾根中ノ曾根臥蛇島近海漁場は二十五度以上にして北方にて二十四度は黒島附近に達し水色良好にて黒潮流の順調なる發達を示せり六日乃至七日頃横當島西沖水溫二十三度海區に於ては漁群少く餌付不良なりしも八日水溫二十五度以上となるに及び魚群浮上多く俄然餌

付良好となり漁況活潑となりたり七島北部漁場には小版鰹濃厚にして三日乃至四日間にて一航海をなし五十乃至六十尾より一萬五千尾の漁獲ありて大いに活況を呈せり大型船は久米島沖合より大丸曾根方面に出漁し大中鰹の好漁ありて三、四日間中には六千圓を揚たるものも有りて近年稀なる活況を呈せり。

第六航海 五月十三日前八時半鹿兒島發九時五十五分櫻島にて餌料積込出漁十四日權曾根を經て南西微西に航し十五日前五時半中之曾根魚群なくオガソ曾根に至り后六時五十分迄從漁大鰹百〇八尾小鰹二千六百七十尾釣獲九時四十分寶島西に漂泊十六日前一時發オガソ曾根に至り七時二十分乃至三十分小鰹八百三十尾釣獲し歸途に就き十七日前二時四十五分山川港着漁獲物賣却價格八百拾三圓八十五錢を得たり鹿兒島へ廻航す。

海況及漁況 前航海に比し二十四度線は北上して佐多岬附近迄達し臥蛇島以南の漁場水温は二十五度を突破するも權曾根五號曾根附近のみ二十三度余の水帶存在せり近海漁場には依然小鰹の好漁持続し小型船一千圓大型船二千圓程度の漁獲續きたり。

第七航海 五月二十日前八時十五分鹿兒島發櫻島にて餌料積込終了出漁二十三日臥蛇島附近より南西微南に索魚し數回魚群に會するも餌付を見ず二十四日北鳥島附近を索魚したるも魚群なく后七時漂泊し二十五日前五時機動西微北に索魚后六時十五分迄十回漁群に會するも何れも餌付不良にて小鰹二百三十六尾を釣獲后七時四十分水深七十五尋の所にて漂泊す二十六日前四時五十分機動南西に索魚七時迄三回魚群に會せるも何れも餌付不良にて小漁に止り七時二十分針路北東に轉じ魚群一、三あるも何れも餌付不良にて小鰹七十三尾を釣獲十二時漂泊す二十七日前五時始動七時二十分小鰹八十尾釣獲后四時三十五分迄四回の流しにて小版魚合計千七百十三尾釣獲し后五時二十五分歸途に就き二十八日后八時四十五分山川港着二十九日漁獲物賣却し鹿兒島へ廻航す。

海況及び漁況 漁場に於ける表面水温は北部は二十五度内外海色良好にして鳥島近海より伊平屋曾根附近東海百尋線附近迄は二十七度を示し以西は二十六度余なるも臥蛇附近より以北は北方より水帶の壓迫強く二十二度余を示せり、活況を續けたる近海共に一時疲れ氣味にて魚群稀薄となり一時不況となれり横當島より鳥島西百尋線附近には小版群多きも餌付不良なり大型船一航海一千五百圓小型船五、六百圓の漁事なり。

第八航海 六月三日午後壹時鹿兒島發一時五十分櫻島にて餌料を活養し出漁先島南漁區の探査を行わんとし四日前〇時五十分永田岬を通過南下し后四時東風強吹に依り大島西海岸に沿ひ五日前〇時曾津高崎沖合に漂泊し五時二十分始動徳之島水道より東岸に出て冲繩島の東岸沖合を南下し六日前十時中城灣ノ津野島燈臺より南西一分一雨に取り續航したるも偏南信風強く前十時針路南西に轉針續航八日前九時針路南西

微南に轉針九時二十分小版魚群に會したるも餌付不良にて二尾釣獲に止り后一時東經百二十四度二十六分北緯二十二度三十三分波照間島の南々東九十四浬附近にて魚群に會し一時三十分より二時四十五分迄二回流して小版漁鮪仔混り三千八百尾を釣獲し水不足の爲沖繩に向ひ九日續航中數回魚群に會せしも試漁出來ず十日那覇入港水補給の上同地發十二日后十時十五分枕崎入港十三日漁獲物賣却價格七百四十一圓十九錢を得十四日鹿兒島へ廻航す。

海況及漁況 本航海に於ける漁場表面水温の分布を見るに屋久島以北には二十四度以下二十度位各處々にて寶島及大島迄は二十五度内外大島附近は二十四度内外の水帶瀰漫し居れり沖繩近海は二十六度以上にして宮古曾根南東以南は二十七度以上なり本船漁獲位置にて二十八度四一分にして本航海中最高を示せり沖繩以北の漁場にては往復航共魚群極めて少く沖繩以南に於ては往航は南西信風強吹して魚群浮上せず歸途に際しては宮古島南東海區より沖繩南方まで魚群多きを認め民間漁船に速報せり先島南漁區に於ける魚群は非常に濃厚なるものにして近來になき好漁をなしたり魚群は小版魚多かりしも中大鮪等混じソーダ鰐釣多く且捕食物は小魚族多く此の附近に漁礁の存在するに非ざるかを思はせたるも水不足の爲め調査を進むる能はず歸途に就けり。

第九航海 六月十七日后一時半鹿兒島港發十八日熊本縣天草郡嵐口へ廻航餌訓しの爲、十日迄滯在二十一日出漁す二十二日后五時波浪高く臥蛇島に假泊二十三日前五時四十分後針路南西微南后七時半横當島左舷正横距離三浬にて通過二十四日前六時二十分北鳥島を左舷正横距離五浬にて通過南下シャギ曾根附近魚群多きも試漁せず后二時半伊平屋島西微北十五浬附近に小版魚大群あるも試漁せず南下し后十一時十分慶良間島左舷に通過廿五日后一時針路南々西に轉針后六時三十分宮古島南東微南三十浬にて大版魚群の濃厚なるものに會し七時七分迄に九百七十四尾を釣獲水缺乏の爲直ちに歸途に就き廿六日后八時那覇入港し増水の上同港發二十八日后十時五十分枕崎入港廿九日漁獲物賣却價格貳千拾圓三拾錢を得たり。

海況及漁況 往航に於ける漁場表面水温は口永良部島附近二十四度平島附近二十七度以南は主として二十八度内外の水温にて慶良間附近一部二十七度の所あるも本船漁獲位置は二十九度二分にして最高水帶なりき復航に於ては口永良部以南は殆んど二十八度以上なるも各離島附近には局部的に二十八度以下の水帶點在せり北鳥島及伊平屋島近海には小鰐群相當に見受けられたり本船の漁獲位置に於ける大版魚群は近年に見ざる濃厚なるものにて且つ餌付甚良好なりき本年度以上二回の調査に依り八重山南漁區有望確實なるを證明せられし爲に民間船の出漁せるもの何れも好漁事を見る七月中既に同漁場より五、六萬圓の水揚を見たり。

以上を以て本年度本試験を終了し六月二十九日枕崎に於て臨時漁夫を解雇し六月卅日鹿兒島に廻航せり。

鰹漁業關係海洋横断観測

二月分

開聞崎より奄美大島笠利崎間横断観測は二月分光洋丸に依り二月十五日—十六日 亘り施行せり。

水温の分布を等温線に見るに一概に盡せば沿岸に低く冲合に高し水温の最低は開聞南八浬點百五十米突に於ける十四度に最高は大島近海に於ける二十一度五分にして沿岸より十七度、十八度、二十度、等く並行して羅列せり開聞岬より屋久島迄の底層には十六度以下の水帶横はり十七度線は南方ト浬より底へ達し屋久島近海の百米以深に十八度線有り以深は十七度にして永田岬南方西二十浬點より三十浬點の底層に至る十八度及び三十浬表層より五十浬百五十米層に至る二十度線七十浬以南は二十一度を以て占めらるゝも百浬點百五十米突層に二十度五分の存在を見る要するに沿岸には低温水帶の進出顯著にして冲合には二十一度の黒潮水帶殘爲す。

三月分

三月二十六日より二十七日迄照洋丸に依り施行せり水温の分布は前月同様沿岸に低く冲合に高し水温の最高は二十二度二分にして前月最高に比し約一度高く最低は十五度二分にして前月最低に比し五分高し等温線を見るに大島近海に於て前月に比し二十度以下の水帶稍進出し二十度以上の水帶は稍其幅を狭め六十浬内外にして中間部幅三十浬の二十二度の水帶表面に蟠居せり十八度の水温は永田岬南々西五十浬點底層より沿岸表面へ擴り百米以淺を竹島近海迄擴り底層は十七度内外を以て占められ沿岸底層には尙十六度以下の沿岸水帶殘爲せり總じて前月に比し一度の上昇を示し海況變化の一徵候を見たせり。

五月分

五月四日より五日に至り齧漁業の傍ら施行せり水温の最高は永田岬南々西二十浬表面に於ける二十四度六分にして二月最高に比し三度一分高く三月最高に比し二度四分高く最低は開聞岬南八浬點百五十米突層に於ける十五度三分にして二月最低に比し一度一分三月最低に比し一分高し水温の分布は沿岸底層に低く冲合表層に高し二十四度の等温線は屋久島附近表層より沖合へ二十五米突層に至り四十浬點表層にて一應影を没し更に六十浬點五十米突層七十浬點底層に至り以南百米突以淺に擴れり二十二度線は屋久島附近表面より六十浬點底層に斜に走り二十度線は開聞岬南八浬點の表面より屋久島附近底層にありて尙十七度以下の水帶は北部底層に蟠居し居れり之れを要するに黒潮勢力は南方七島列島附近表層に至りて屋久島以北は沿岸水帶の勢力殘爲せる傾向を認む。

八月分

八月六日より七日に亘り光洋丸に依り施行せり水温は全般的に表面に高く底層に低く沿岸底層には二十度以下の水帶殘爲せり最高は二十八度五分最低十九度五分なり、二十六度の等温線は屋久島以北は五十米層附近にあり以南にては大島方面底層に一部份的に爲存し他は二十七度内外にして五十浬以南百浬點附近迄二十八度以上の水帶五十米突層以上にあり八十浬にては百米突層に達し居れり屋久島以北中層に二十二度の線及び竹島北部底層に二十度以下水帶存在す要するに黒潮勢力は全般的に擴張し來たるも沿岸にては表層にあり底層には北方より沿岸水の潜入しあるを知れり。

十月分

五日より八日迄全國各府縣連絡日本海一齊調査に參加し光洋丸に依り左記二線に亘り施行せり。

開聞岬より笠利崎線、水温の最高は二十六度八分最低は十五度九分にして表面に高く底層に低じ二十六度の等温線は各點五十米突附近に有りて北方は開聞岬南六浬二十六米突點に發し十四浬及二十二浬点にては五十米永田岬南方にて一應表層に出て消滅し居るも永田岬南々西二十浬附近表層に發し五十米層を笠利崎迄連續せり二十五度線は各中層にありて北部五十米突に發し南方二百米に斜線となりて表はれ二十二度線は北方底層にあり更に下方に十八度線分布せり此の線水温は北方底層に低く表層に高溫なり南方は北方に比し高溫なり。

横當西一〇八浬線横當島西觀測線は笠利崎横當間及び横當島西一〇八浬點に至る迄十八浬毎に施行せり水温の最高は二十六度八分最低は二十一度にして二十六度の等温線は笠利横當間二十五米突より發し横當島附近の百米に達し五十四浬點にては五十米突附近に浮上し此の附近を一〇八浬點迄通せり横當島一〇八浬點より坊岬線は二十浬毎に觀測せり水温の最高は二十六度八分最低は二十度四分にして二十六度の等温線は沖合中層より沿岸表層に分布し二十三度は中下層にありて横斷し居れり。

鰹漁場に於ける表面水温の分布と鰹漁況

昭和八年二月中

前年に比し寒冷なる天候續き從つて漁場水温も低く魚群の浮上少く且餌付不良にて初漁季も昨年に比し約十日遅れ月を通じて薄漁に終り金額に於ても三萬五千圓の減となれり主要漁場は七島近海最高漁獲は二月二十五日大中一、八〇〇尾價格三千六百八十三圓最低一一四圓餌料鹿兒

島灣内豊富なり大型二百圓普通百五十圓魚体中版魚多く鮪之に次ぐ。

三月中本船の調査に依れば三月下旬に於ける漁場表面水温は二十一度の水帶は大島西岸二十浬位を北東流し北部は口之島北方より屋久島南方に達し二十二度線は横當島西沖三十浬附近に達し出現せり本月中枕崎船の最高漁獲は二十六日飛大三百二十二尾大二百四十三尾中三千三百五十七尾價格六千三百六圓四十七錢にして最低は四十一圓に過ぎざるもの有り主要漁場は七島西沖より鳥島西沖海區にして魚体は中版魚最も多く小版之に次ぎ鮪、大版、飛大の順位となり魚價は飛大十七錢乃至二十四錢中盤十二錢乃至二十一錢大十八錢乃至十五錢鮪十二錢乃至十四錢飼料は鹿兒島灣内豊富にして一隻持二百圓内外昨年に比し八萬六千斤價格一千五百圓の減を示す。

四月中海況

上旬前旬に比し暖流稍擗頭し來り二十三度線の出現顯著にして寶惡石西沖三十浬位を北東流し臥蛇口永良部間に達せり口永良部附近に二十度硫黃島附近十七度なり中旬暖流の擗頭前旬に引き續き二十四度線は北鳥島より横當島を連ね北流の傾向ありて臥蛇西にて北東流に轉ぜんとする傾向ありて臥蛇西にて北東流に轉ぜんとする傾向あり二十一度は口之島附近より口永良部西沖北部に於て佐多岬を衝かんとする情勢にあり更に横當西沖五十浬附近二十五度線の出現を見る下旬前旬に引き續き暖流發達し來り二十五度線は横當附近より臥蛇島に至る間三、四十浬の幅にて北東流を示し七島北部口之島惡石間を東北東流して屋久島南に流逝し居れり其の他漁場共各二十四度内外の水温なり。

漁況 本月中大型船の主要漁場は伊平屋曾根より久米島近海東、西大九曾根近海を主として小型船は七島漁場に集中し一航海最高大七百三十八尾中二千五百七十九尾小版九百六〇尾價格五千七百六拾參圓余にして最低獲二百九拾圓余り一隻平均三千四百六十四尾斤數一萬六千六百八十斤價格二千百八圓余にして海況の順調と共に漁況好適となり日を通じて各船相當の漁事を見る魚体は小版最も多く中版、鮪、大、飛大、之に次ぎ前月に比し小版漁増加せり飼料は鹿兒島灣豊富にして二百圓内外小型船百圓の一隻持價なりき前年に比し尾數に於て増加せるも金額に於て稍劣れり。

五月 中海況

上旬。前旬の二十五度線は一時停頓し大島近海の二十四度は稍西方に進出し大島北部より屋久島間百十浬位二十四度の水帶瀰漫せり中旬に入りて更に東流の傾向顯著にして屋久島方を二十五度線東流し居り下旬に入りては二十五度線は口之島臥蛇附近より寶島間を東北東流する二十五度線あり鳥島西沖に二十六度更に南方に二十七度の出現ありて海況は旬を追ふて發達し順調なり。

漁況 主要漁場は前月に引き續き小型船は七島近海に從業し大型船は久米島宮古八重山方面に及び從業し各漁場共魚群多く何れも相當の漁事

を見る枕崎船最高獲一航海四千九百六十八圓最少三一二圓余にして殊に近海に於て小版魚最も多く鮪之に次ぎ餌料は引續き鹿兒島灣及片浦灣附近に好漁ありて一隻持二百圓内外小型船百圓位なりき魚價飛大十錢乃至十八錢大版十二錢乃至二十一錢中版六錢乃至十三錢鮎五錢乃至十三錢前年同期に比し遙かに好漁を示し十五萬二千尾斤量十九萬二千斤價格四萬九千圓の増加を示したり。

六月 中海況

水温の上昇益々順調にして二十五度の水帶は屋久島以南は二十六度宮古島南東海區に至りて二十七度の水帶出現し中旬に至り二十五度は稍其の福狹くなり屋久島附近にて約一度低下したるも下旬に及びて水温の上昇俄然著しくなり竹島、硫黃島以北は二十八度七島中心漁場は二十九度の水帶を見るに至れり。

漁況 本月中の枕崎最高漁獲船は十一日入港飛大四三五尾大版一千七百十二尾中版二百三十三尾小版千四百八十九尾價格六千三百七十九圓五六錢にして最低百十一圓余なりき漁場は引き續き遠くは八重山方面に亘る廣範圍なる區域にして何れも相當漁事を見たり殊に本場指導の元に宮古南東海區及八重山南漁區に出漁せるものは何れも好漁にて新漁場として一新聞拓路を開けり前年同期に比し航海數を増し尾數六萬二千尾價三萬三千圓斤量五萬四千斤の増加を示したり。漁價は飛大十九錢乃至二十五錢大版十九錢乃至二十五錢中版十四錢乃至二十五錢小版七錢一十六錢鮎八錢乃至十六錢にして餌料は鹿兒島灣附近より供給せられたり本年春漁期薩南海區に於ける水温の分布は初期例年に比し稍低温なりしも四月以來水温の上昇暖流の發達順調にして天候も比較的良好なりし爲魚群の浮上多く何れも相當餌付を見たる爲遠近各漁場共好況裡に春漁業を終れり殊に近海黒島近海口永良部西沖及び臥蛇島以北の舊帆船時代の盛漁場たる近海漁場に小版の好漁續き一航海一萬尾以上に及ぶものあり航海數を増加したる爲め前年に比し活況を呈せり故に小型漁船にして相當好漁を見たるもの多し久しく沈帶せる鰐漁業界に一縷の光明を認めたる感あり更に六月に入りて本漁船の進出好漁の結果民間船の出漁多く好漁合次ぎ好況を呈せり枕崎船の漁獲に付き六年度に比し六月末にて一七五、七三五圓を上げ七年度に比し二百四十三圓十三錢の増漁を示せり。

昭和八年春漁期ニ於ケル枕崎及山川港ニ於ケル漁獲高調査

—

昭和八年七月以降に於ける枕崎鰹漁獲高調査表

(外來船ヲ含ム)

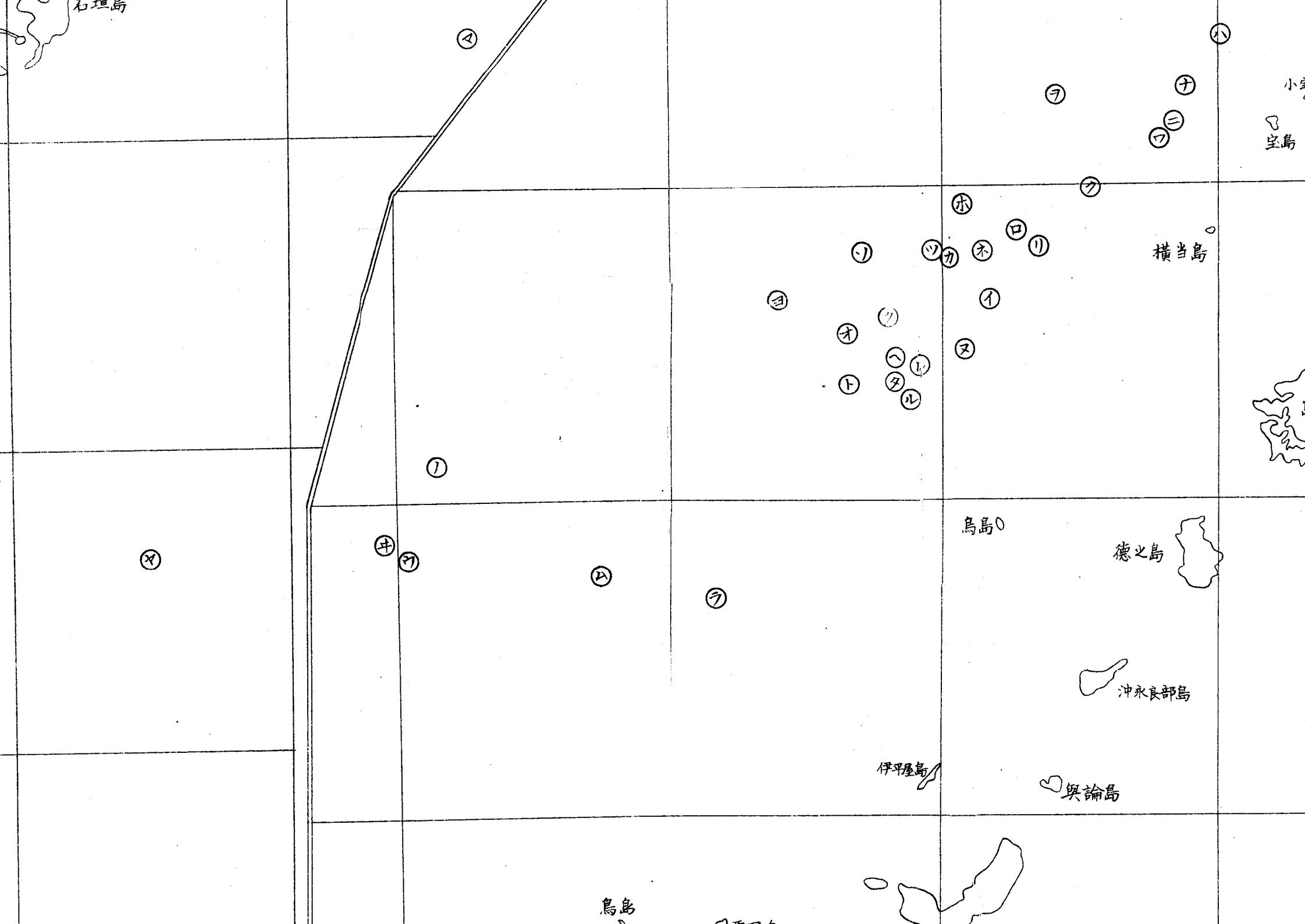
報告済レアリ外來船ヲ含マズ

昭和八年枕崎港に於ける鰹魚型調査表

前年度に引き継ぎ枕崎地元船に付き其の漁獲高及魚種別に付き調査を行ひたり。魚種別については飛大、及大、中、小、鮪仔及傷魚に區別し重量は斤數に依れり。

枕崎船團漁獲狀況 (組合船のみ)

以上の如くにして本年枕崎船の漁獲物は小版最も多く殆んど全漁獲物の六割九分を占め中版之に次ぎ一割一分二厘大版九分七厘にて第三位となり飛大及鮪仔一割に満たず之れを七年度と比較するに昨年は中版五割八分九厘を占め小版一割八分九厘にて之に次ぎたるも本年は昨年に比し中版魚減じて小版魚増加せり大版も稍減せるも大差なし。



漁業連絡試験表

(昭和八年度)

月日	3-30	4-6	4-7	4-10	4-18	4-27	-28	-29	5-6	-7	5-8	5-15	5-16	5-25	5-26	27	6-8	-25	計		
漁符號	イ・ロ	ハ・ニ	ホ	ヘ	ト	チリヌル	ヲ・ワ	カ	ヨ	タ・レ	ソツネ	ナ	ナ	ラムウ	キ・ノ	オ・ク	ヤ	マ			
位置緯度	1 28°-35 N ロ 28°-39 N	ハ 29-25 N ニ 29-14 N	28°-54 N	28°-23 N	28°-18 N		ヲ 29-14 N ワ 29-06 N	28°-43 N	28°-35 N	タ 28°-18 N レ 28°-22 N	ソ 28-44 N ツ 28-45 E ソ 127-44 E	29°-15 N	29°-15 N	ラ 27°-37 N ム 27°-40 N ラ 127-10 E	キ 27°-48 N オ 28°-28 N ク 28-31 N	オ 127°-39 E	22°-33 N				
場置經度	1 128°-11 E ロ 128°-19 E	ハ 129°-02 E ニ 128°-57 E	127°-45 E	127°-45 E	127°-40 E		ヲ 128°-25 E ワ 128°-48 E	128°-03 E	127°-24 E	タ 127°-41 E レ 127°-55 E	ソ 128-00 E ツ 28°-45 N ネ 128°-10 E	128-55	128°-55 E	ラ 125°-58 E ム 125°-44 E ウ 127°-44 N ク 126°-09 E	オ 127°-39 E ク 127°-48 E	124°-26 E					
氣象	天候雲量	R	B	C	R	C	B	B 4	C	B	C 10	B	C	R	B	C	B				
	風向風力	S 2	NW 1	SSE 3	W 2	NW 2	NE 2	NNE 1	E 1	N 2	SW 2	ESE 3	SSE 2	S 1	N 3	N 2	SE 1	S 2	S 1		
	氣壓	764	761	762	一	761	760	762	764	762	764	764	762	764	764	760	759	760			
	氣溫	20,00	21°	25,0	22°	25,0	22,0	21,0	21,7	20,4	一	21,0	—	24,5	25,4	25,0	24,0	28,6	28,0		
海象	水温	0 m 25 m 50 m 100m 温 150m	22,8 22,8 22,5 22,3 21,6	23,3 23,5	22,5	23,5	25,2	24,3	24,8	25,1	23,7	23,7	25,0	25,5	23,5	27,0	26,0	25,7	28,5 29,2		
	潮流方向度	E slow	NE 背		NE			NE 急	ノ				NE								
魚群	種類	中鰹	中鰹	中小	中濃	小濃	中小	大 淡	小 淡	鮪仔	小 淡	小濃	小濃	小濃	小濃	小濃	小濃	小濃			
	濃淡	濃	濃	濃	濃	濃	濃	不 良	良	淡	良	良好	良好	良好	良好	不良	不良	不良			
餌料	付	良好	不良	不良	不良	良好	良好	不 良	良	不 良	良	良好	良好	良好	良好	不良	不良	不良			
漁具	使用時	14 ⁴⁶ -17 ¹⁰	11 ³⁰ -16 ⁰⁰	8 ⁵⁰ -10 ²⁰		8 ²⁰ -17 ³⁰	8 ⁴⁰ -17 ³⁰	11 ⁵⁰ -15 ⁰⁰	9 ²⁰	14 ⁰⁰	8 ⁰⁵ -16 ⁴⁰				10 ²⁰ -6 ¹⁵	6 ⁴⁰ -11 ¹⁰	8 ¹⁵ -16 ³⁵	13 ⁰⁰ -14 ⁴⁵	6 ³⁰ -7 ⁰⁰		
	使用數	2	2	2		6	4	2	1	1	2					3	2	2	1		
飼料	種類	タ・レ	タ・レ	ノ		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ		ノ	ノ	ノ	タ・レ	ノ	ノ			
	數量																				
漁獲	大	950	166	60	59	67	96				47	108							974	1,225	
	中			100	761	2,727	603	37	200	105	850	1,348	2,670	830	236	73	1,713	3,800	1,302		
	小																		16053		
	價額	¥ 1,431,36			¥ 446,01	¥ 531,18		¥ 301,00	*		¥ 1,394,51			¥ 830,35			¥ 436,50	¥ 741,19	¥ 2,010,30	¥ 8,142,90	
備考		北島鳥北沖附近操業	五ガソミツ曾根タコ	十時三十分中小漁	横當島西沖操業	北島鳥附近北西海區操業	横當西沖ニテ操業	寶島西沖ニテ操業	寶島西沖ニテ操業	鳥島北西海區ニテ操業	横當西沖四セリ沖操業	オガソミツ曾根操業	横當西沖百尋線附近操業	百尋線附近操業	横當島西沖操業	横當島西沖操業	波照間島南東回流シ終漁	宮古島南東以南三十浬			

南洋鰹鮪漁業共同調査概要

(昭和七年度)

趣旨 大型鰹船の秋冬休漁期利用法として南洋通漁の適否を調査するを以て目的とす。

方法 本場と枕崎鰹船主組合の共同試験事業とし民間船大神丸をスール海方面に派遣し鯷釣及鮪延繩兼業試験をなす。

調査船 大神丸

總噸數 百〇一噸 木造洋型帆船

機関 二三五軸馬力 デーゼル機関

設備及調査區域 スール海

無線電信機アリ

冷凍機ナシ

水 煙 水積載量二〇噸

漁 舱 水積載量二八噸

乗組員 指導者 地方農林技師 武市和夫

船長町頭幸内 船員漁夫 四十三名

期間 自昭和七年十一月十五日至十二月二十九日

経費 枕崎鰹船主組合にては調査船大神丸及漁夫を提供し本場よりは二航海分経費參千四百圓を支出し漁獲高を本場四分船主組合六分の割に分配す。

経過概要 本期間に二航海をなし第一航海に於ては櫻島に於て鰹餌料餌を積みスール海カビリ島沖合に直航し七斤廻り中鰹五千七百尾を釣り高雄に歸港漁夫自から荒節の製造に當り第二航海に於ては鰹鮪兼業計畫の準備をなし全方面に出動したるに鰹群多かりしも餌付不良の爲め鮪延繩漁業に轉じ四日間操業にて鮪其他の計二百六十七尾を得高雄にて販賣し兩回漁獲高合計金六千九百拾五圓を得本試験を終りたるも大神丸は引續き自己經濟のもとに全方面に出漁中なり。

第一航海 十一月十五日櫻島にて中垂に餌を積み出漁既日荒天の爲め口永良部に避難せるも以後引續き好天に恵まれ二十四日即ち實際航走八

晝夜にしてスール海漁場に入りたるに各所鳥山多く「カルサ島」附近に於て二十五、六兩日に於て七斤廻り中版五千七百尾を得「イロイロ」に寄港し増氷の上十二月三日高雄に入港し製造場を借り受ケ主として漁夫自から荒節の製造に當り製品は之れを枕崎町に送り販賣し金四千四百八拾壹圓を得たり本航海中水温の分布を見るに七島沖繩西部沖合は概して二十四度内外にて宮古島より北東東北端に至る線上にては二十五度五内外にて比島西岸及スール海に於ては最高二十九度にて一滯に二十八度内外を示める程度なるを以て此の期に於ては水温上昇の爲め餌料の耗死する恐れ無きものゝ如し尙ホ島附近に於ける鰐浮游釣獲の状況より見るに上下汐流の當初に於て浮游活躍甚だしく釣獲容易なるものありて全方面に於ては潮汐と鰐浮游時の關係は本漁業者に取りて最も研究すべきものなりとす本航に於ては氷積載量僅かに二十噸に過ぎず然も冷藏器の設備なきを以て本縣よりの通漁不可能ならざるも極めて困難なるものあるを以て高雄にて補給せるも冷藏器の設備をなす時は本縣より通漁するを以て有利なるものと信す。

第二航海 本航海に於ては鰐餌料として台灣産「マサバ」の仔七萬餘尾を積みたるに七尺×六尺×七尺の活魚船二間適當となる分量となり他に鮪繩餌料として「マサバ」二千四百尾及氷三十噸を積み鰐鮪兼業の準備を終り十一月十日發前漁場に向ひ十六日よりスール海に入り十七八兩日各所を見るに魚群多く水温等變化なきも連日の信風強吹の爲め海水混濁甚しく透明度僅に十六米（普通三十三米内外）に過ず餌付極めて悪く當分見込立たざるも「カガヤンスール島」東部方面にて水色稍良好なる個所を搜し得たるを以て十九日より二十二日に至る四日間毎日七十鉢（釣數四二〇本）を使用し大糸鮪百七十八尾小鮪二十九尾カジキ十九尾鱈十一尾鱈咬切鮪三十八尾計二百六十七尾を得二十八日在高雄にて販賣し金貳千四百參拾參圓を得たり本航海に於ては鰐餌料「マサバ」を積みたる關係上氷の積載量三十噸なりしを以て四日間の操業しか爲し得ざりしも冷藏器を設置せば鰐或は鮪何れかを以て相當の漁獲を得べく兼業出漁の有利なるを確め得たり。

大神丸操業日誌

第一航海

操業月日	漁場位置	符合	天候	風位	氣溼	氣壓	水溫	水色	漁獲物尾
十一月二十五日	カビリ島沖合	(イ)							
"		(ロ)							
	B.C.C								
S E 1	E 2								
29.5 29.5									
752 754									
28.5 28.5									
2 2									
計	中 鰐	二、七〇〇							
		三、〇〇〇							
		五、七〇〇							

鮪延繩漁獲率表

(本)	(二)	(六)	漁場
"	"	四二〇本	使用釣數
一六 五、四 三尾	一五 二、四 八尾	一五 四、八 〇尾	鯛 釣二〇ニ對スル率
二、 〇八	一、 四六	全 上	小 鮪
○、 五二	○、 三四一	一、 七七	カジキ "
○、 九五四	○、 七三	○、 七三	フ カ
一一	一一	一一	雜
一八、 七八尾	一五、 一尾	一六、 一尾	合 計

(イ)	"	三、二尾	一五
計		三、六二	一三、五尾
二〇八		二、一四九	〇、一四一
二九		一九	一五、八尾
		一一	二六七尾
		平合	五、七尾
		均計	一五、八尾

右表の如く釣數百本に付漁獲平均十五、八尾の多數を示し極めて優良なる漁場たるを證す可し。

南洋鰹鮪漁業共同調査概要

(昭和八年度)

- 一、目的 前年度に引續き冬期休漁期に於ける大型鰹船の利用として南洋通漁適否
- 二、時期 自昭和八年十一月至九年一月間
- 三、調査方面 スール海及セレベス海
- 四、調査主体 本場と枕崎町鰹船主組合の共同試験とす
- 五、指導員及乗組員(イ)第一航海武市技師第二航海伊原技手(ロ)漁夫五十四名
- 六、調査船及其の設備 (イ)船名大神丸
- (ロ)總噸數 一〇一二噸 (ハ)機關馬力 二二二五馬力 (ニ)無線電信機 真空管式無電機一台
(ホ)冷藏器 二噸冷藏器
- 七、経費 枕崎船主組合より調査船大神丸及漁夫を提供し本場よりは経費として壹千八百圓を支出し漁獲高を本場二分船主組合八分の割に分配す。

第一航海概要

昨年度試験に於て冷藏器を設備せる南方鰹鮪兼業通漁の可能性ある事を確め得たるを以て本年度に於ては昨年使用せし大神丸に「フリック」製二噸冷藏器を特設せり第一航海に於ては出漁期日の關係上冷却水槽にのみ配管し鰹漬用水氷の補給を爲す事とし約三噸の海水を一時間平均三度半づゝ低下せしむの結果を得たり昨年度の試験に徴し十月より十一月に至る間はスール海方面の鰹漁獲は確實となりとの確信を得た

るを以て本航海に於ては鰹のみを目的とし出漁を試みる事とし十一月十七日角氷二十噸重油九百罐（載積最大限度）を積み枕崎港發十八日長島に於て垂口鱈約百タモ餘を積み出帆せるに途中好天に恵まれ二十七日午前一時カビリ一島に達したり即ち八晝夜半航走にて漁場に直航し當日全島附近にて中判千七百八十尾を得たるも餌付き良好ならざりしを以て翌日南島を經て更に「ゼシーベックスリーリーフ」方面に到るも魚群は何れも小餌持ちにて餌付き悪く僅に五百餘尾を得たるに過ぎず翌日全所にて約千二百三十尾を得たるも見込少なきを以て再び「カビリ」島に歸り三十日餌付稍良好にして三回流して三千五百尾を得たるに未だ多少の餌料を残したるも氷不足せるを以て高雄に向ひ十二月五日入港増氷及重油の補給を爲し翌日發十日枕崎に入港翌日之れを販賣せり本試験に當り冷藏器を据付け冷却水の製造を爲すに二十四度の海水にては約七時間をして零度の氷水と爲し得晝夜の之れが連續製作により貯藏上多大の補助を爲したりと雖も主要氷室の冷藏設備を欠ぎたる結果二十噸の角氷は僅に十四噸位に減じたるを以て氷不足し魚質を損し鮮度極めて不良なりし爲め價額亦減じ普通魚の八掛弱にて取引せられしを以て中版（六斤餘廻り）七千尾にて六千拾五圓を得たるに過しさりしも冷藏器の機能を發揮せしむる様更に改良せんか價格の高騰を見る可き事は明なるものとす本試験中スール海各所水温二十八度内外にして昨年と大差無く以て餌料の耗死する恐れ無き事を確められたり尙當期好天多く昨年度に於ては高雄に寄港し往航九晝夜を要し本年度は八晝夜半を以て漁場に達し僅に二十二日間を以て往復し得たる上尚ほ経費貳千圓にて漁獲六千餘圓を擧げ得たるを以て通漁の可能なる事を證するに足る結果なりと信す。

第二航海概要

第一回航海の結果に徴し氷船に冷藏設備を施し積載氷の溶解を防止する事とせり昨年度試験の結果スール海方面は十二月以後一時的に海水混濁し魚群あるも餌付不良なる事あるを知りたるを以て本航海に於ては鰹鮪兩様の準備をなし十二月十八日枕崎港發十九日東長島に於餌料鰯約百タモを積み出帆するに強西風に會し途中手打港及寶島の二ヶ所に避難するのやむ無きに到れり二十六日宮古島の南緯東三十五度附近南下中大版鰯の大群に會し小量の撒餌を以て鰹三百尾を得二十八日高雄に入港せり鰹は全地にて販賣し油水等の補給及鮪延繩たる「マサバ」二千五百尾を認め三十一日出帆五日カビリ一島附近を索魚するも魚群少なく且つ餌付不良なりしを以てミンダナヲ西部沖合に向ひ六、七日兩日に渡り北緯七度三十分東經百二十一度二十分附近を見たるに海水清澄にして魚群相當多きも餌付不良にして僅かに五百尾を得たるに過ぎずして鰹漁業試験を終了せり八日より鮪延繩に轉じ八十鉢（四百二十釣）を使用し北緯七度三十二分東經百二十一度二十五分に操業せるに鮪二十尾の不漁なるを以て九日約十三浬南下し投繩せるも良好ならず西走して十日、十一日の兩日クラセイン島南方沖合にて操業せるに亦良好ならず更に西走しカガヤンスール島の東方沖合にて兩回投繩するも三十尾内外の漁獲に過ぎざりしも相當時日を要したるを以て氷油

等の残量少く因て歸途に就く十九日高雄に入港し鮪旗魚鱈を賣却せり二十一日全所發歸枕の途に就くも北東の強風連吹し途中蘇灣に避難し輕を賣却し二十七日出帆卅日枕崎に歸港し本試験を終了せり本航海に於ける漁獲物は輕八百八十尾鮪百七十一尾旗魚十七尾鱈三十尾にて此の價額千九百七圓なりとす本航海は荒天期に際會し各所に避難するの止むなきに至り往復實に四十日間を要したる上漁獲僅少にして收支相償はあるの結果を見たり。

大神丸操業日誌

第一航海

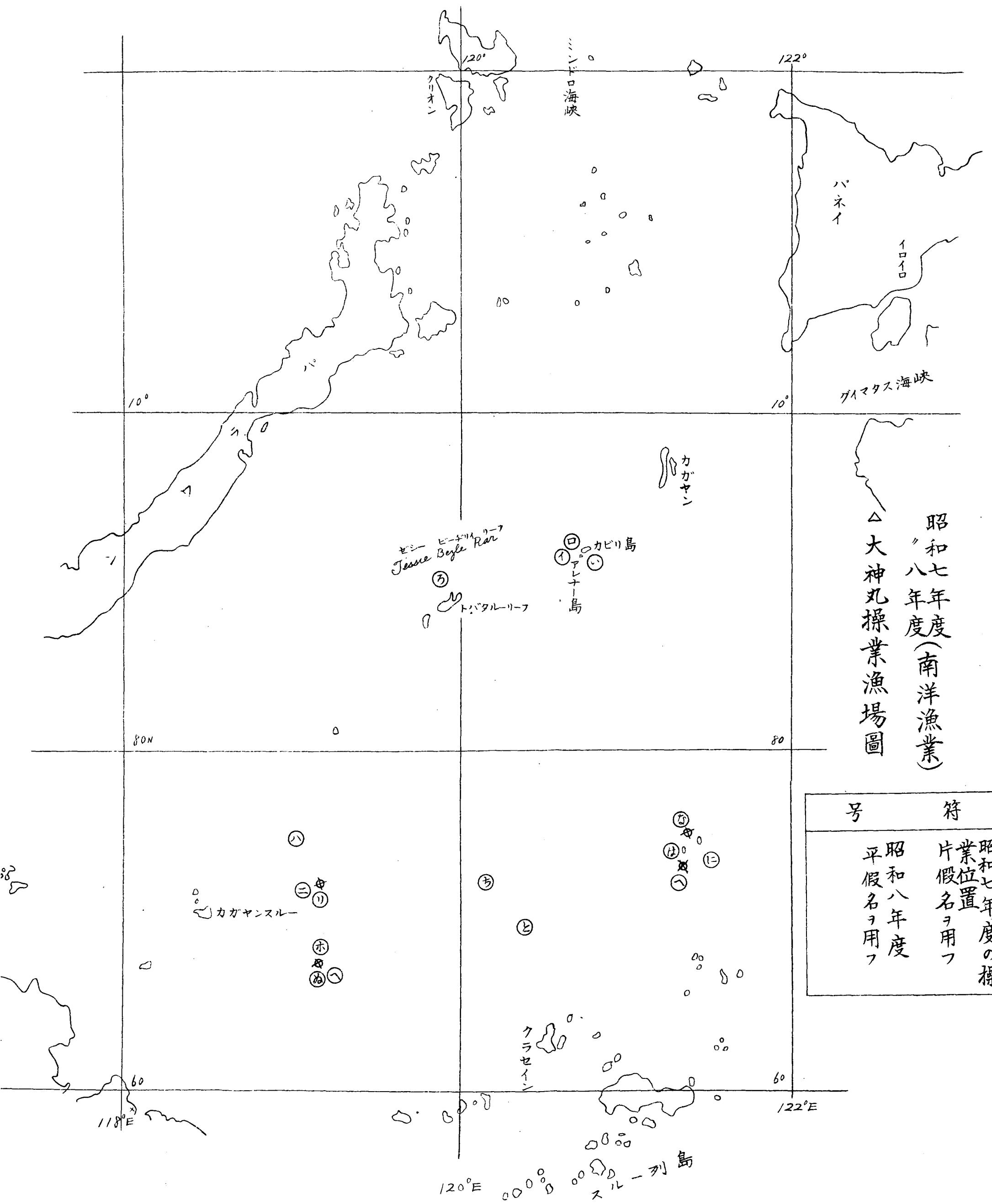
操業月日	漁場位置	符合	天候	風向	風力	氣溫	氣壓	水溫	水色	漁獲物
昭和八年十一月二十七日	カビリ島附近	(い)	(ろ)	EN	2	元〇、〇	西〇、〇	元〇、〇	中	一、七八〇
二十八日	ゼンビーズリリーフ附近	(ろ)	(ろ)	N	2	元〇、〇	西〇、〇	元〇、〇	中	一、三三〇
二十九日	"	(い)	B	SE	2	元〇、〇	西〇、〇	元〇、〇	中	一、三三〇
三十日	カビリ島	(い)	B	NE	2	元〇、〇	西〇、〇	元〇、〇	輕	六、九〇

第二航海

八日	昭和八年十一月五日	西之表島附近	カビリ島	微	西	7°—19' N 121—21 E	NE	3	B	(ほ)
"	"	南	ノ五島附近	カビリ島	東之表島	7°—31' N 121—14' E	N	3	C	(に)
"	"	南	十島附近	カビリ島	南	7°—31' N 121—21 E	E	3	B	(は)
"	"	南	五島附近	カビリ島	南	7°—31' N 121—21 E	S	3	B	(は)
"	"	南	南	カビリ島	南	7°—31' N 121—21 E	SE	1	B	(は)
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	N			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	E			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	SE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E	NE			
		西	西	カビリ島	西	7°—31' N 121—21 E</				

昭和七年度(南洋漁業)
△大神丸操業漁場圖

号	符
昭和七年度 平假名ヲ用フ	業位置 片假名ヲ用フ



旗魚延繩漁場調査

一、趣旨 本縣に於ける旗魚延繩漁業は主として秋期長崎沖合より東支那海百尋線附近に操業されつゝあるも尙夏季漁閑期に於ける之等延繩渔船の利用並に新漁場の探査を目的とし大島近海より沖繩縣赤尾嶼附近を調查せり。

一、経過 赤尾嶼の遠隔漁場は照洋丸（五十五噸七十五馬力）を使用し船員十四名主任者一名乗組み延繩漁具（幹繩の長さ六百尋枝十二本付）二十鉢を準備し昭和八年七月十三日より八月七日迄一航海をなし爾後光洋丸（二十噸四十馬力）に漁夫九名乗組み大島近海に十一月五日迄三航海をなし計四航海操業日數十九日投繩三百七十三鉢にして旗魚三十三尾芭蕉旗魚九尾鱈四十八尾鮪五尾鰐二尾價格九百七拾壹圓拾參錢を得たり赤尾嶼附近の遠漁場調査には照洋丸は船体過少にして且つ氷艶の防熱装置不完全なる爲鹿兒島港よりの通漁は困難なるを認めたるを以て沖繩縣那霸港を根據として從漁する計畫なりしも第一航海後は颱風期に相當し加ふるに沖繩縣にては餌料を得る事困難なりし關係上全方面的漁場調査は僅かに一航海五日間の從漁にて中止したるも相當旗魚類の迴游を認めたるを以て將來機會を得て詳細なる調査を續行せんとする各航海の狀況左の如し。

第一航海 照洋丸を以て七月十三日鹿兒島港發全十四日屋久島一湊にて餌料鯖千六百三十尾購入し赤尾嶼に向ひ十七日全島南微西八浬に從漁し真旗魚二尾芭蕉旗魚四尾鮪三尾鱈七尾を得十八日全島北々東六浬にて旗魚一尾鱈三尾十九日今島南八浬にて芭蕉旗魚二尾鱈五尾鰐二尾を漁獲二十日黃尾嶼北東十五浬に投繩したるもフグ多く餌を奪食され漁なく二十一日赤尾嶼東六十浬に投繩芭蕉旗魚二尾鱈二尾を得荒天となり那霸に向ひ二十二日着漁獲物賣却操業五日にて旗魚三尾芭蕉旗魚八尾鱈十七尾鮪三尾鱈二尾價格貳百九圓六拾壹錢を得其の后二回颱風襲來したるも餌料難の爲め出漁の期なく八月一日迄全港碇泊三日全港發大島古仁屋に向ひ五日着餌料なき爲歸途に就き六日發七日鹿兒島歸着本航海を終る。

第二航海 光洋丸を以て九月十三日鹿兒島港發屋久曾根にて全夜鯖二百四十尾を釣獲し十四日一湊にて鱈千二百尾購入大島に向ひ十五日喜界島南々東十四浬に操業し鱈一尾を得十六日徳之島喜念崎東十浬にて旗魚一尾鱈一尾を得十七日冲永良部國頭崎南東十二浬にて旗魚三尾鮪一尾鱈一尾を漁獲し荒天となり爲古仁屋に向ひ十八日着二十一日迄避泊し二十二日全所發二十三日徳之島喜念崎南微東十一浬に從漁し旗魚四尾鱈三尾を得二十四日冲永良部國頭崎東微北十七浬に投繩したるも漁獲なく古仁屋に向ひ二十五日荒天の爲假泊し二十六日全港發鹿兒島に向ひ二十七日歸着漁獲物賣却操業五日にて旗魚八尾鱈六尾鮪一尾價格貳百貳拾五圓壹錢を得たり。

第三航海　十月十日鹿兒島港發全夜屋久曾根にて鯖釣をなし四百五十尾を釣獲し十一日屋久島一湊に於て鯖六百尾購入大島に向ひ十三日徳之島金見崎東八浬に操業し芭蕉旗魚一尾鱗五尾を得荒天の爲十四日古仁屋假泊十五日徳之島喜念崎南東十浬にて旗魚一尾鱗一尾十六日徳之島南十浬に投繩好漁にて旗魚七尾鮪一尾鱗五尾を漁獲十七日今島南々西八浬にて旗魚一尾鱗一尾を得荒天の爲め二十日迄古仁屋港に避泊后二十一日全港發歸途に就き二十二日鹿兒島港着漁獲物賣却操業四日にて旗魚十尾鱗十二尾鮪一尾價格貳百五拾九圓〇九錢を得たり。

第四航海 十月二十六日鹿兒島港發全夜屋久曾根に於て鉛鈎釣をなし六百五十尾を釣獲し二十七日一湊にて六百五十尾を購入大島に向ひ二十八日徳之島井之川嶽東二分一南十浬に投繩し旗魚一尾鱗一尾を得二十九日全南々東八浬にて旗魚四尾芭蕉旗魚一尾鱗四尾を三十日全南微東十五浬にて旗魚三尾鱗三尾三十一日全南微西十五浬にて旗魚一尾鱗四尾十一月一日全島南十浬に投繩し旗魚三尾鱗一尾を釣獲し歸途に就きたるも荒天となりし爲大熊に避泊し四日鹿兒島港着漁獲物賣却操業五日にして旗魚十二尾芭蕉旗魚一尾鱗十三尾價格貳百七拾七圓四拾貳錢を得本航海を以て試験を終了せり。

漁業表
旗魚延繩漁業

(昭和八年度 光洋丸)

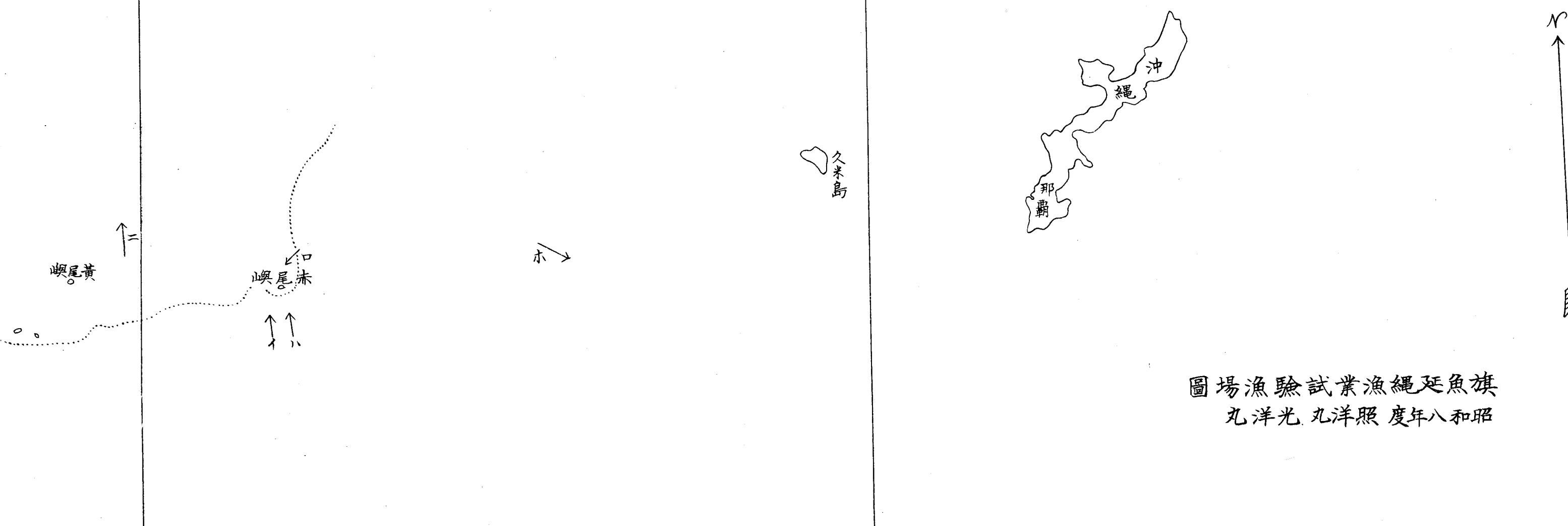
合	十一月一日
計	C s 3
(ツ) 南全	十
	涅島
至自后前	
六六〇〇	
370	20
	25,5
N.	緩
全	
サシフバカ フカ	
ワ シ ジ ジ	
ラビカウキ カキ	
四八九三 一三	
二五八三 一三	
九七一、一三	
終漁後古仁屋ニ向ヒヒ后十一時四十分着二日后二時全所發鹿途ニ就キタルモ荒天ニテ后二時全所發鹿兒島ニテ	時三十分全所發鹿途ニ就キタルモ荒天ニテ后二時全所發鹿兒島ニテ
ヒ四日后七時四十八分着	時三十分大熊ニ避泊三日后二時全所發鹿兒島ニテ

終漁後古仁屋ニ向ヒ后十一時四十分着二日后二時三十分全所發歸途ニ就キタルモ荒天ニテ后九時三十分大熊ニ避泊三日后二時全所發鹿兒島ニ向ヒ四日后七時四十八分着

124°

127°

130°



昭和八年九月光洋丸業試驗漁場圖

瀬魚延繩漁業試験概要

趣旨 漁場の擴張を目的とし數年來七島より大島本島及び喜界島沿海を調査せるも本年は徳之島近海迄探索せり。

経過 試験船光洋丸（二十噸四十馬力）に船員十名主任者一名乗組延繩漁具（前年同様のものにて幹繩の長さ三百尋糸五十本付）三十鉢を準備し昭和八年十一月二十九日より九年二月二十日迄從漁せるも本年は荒天の爲僅かに三航海をなしたるに過ぎず操業日數二十三日投繩數三百二十七鉢にして瀬魚七百七十尾鱗二匹價格六百參圓四拾壹錢を得たり毎航海の狀況左の如し。

第一航海 十一月二十九日鹿兒島港にて餌料鰯購入出帆喜界島に向ひて十二月一日喜界南曾根に出漁し七日迄全所に操業し九日鹿兒島港歸着漁獲物賣却操業七日投繩百十鉢にして瀬魚三百四十七尾價格百六拾貳圓參拾貳錢を得たり。

第二航海 十二月十二日鹿兒島港發十三日十四日屋久曾根にて餌料用鰯釣をなし七百尾を釣獲し寶島に向ひ十六日寶島南東十浬に從漁後荒天となり十七、十八日全島假泊十九日濁曾根に出漁したるも漁獲少く再び荒天となり爲大島大熊に向ひ二十四日迄避泊二十五日ドン・バラ瀬よりサンドン岩に二十六日より二十八日迄サンドン岩東側アツタ曾根に從漁し二十九日鹿兒島港歸着漁獲物賣却操業六日投繩九十三鉢にして瀬魚二百二十五尾價格貳百六拾九圓七拾六錢を得。

第三航海 一月九日鹿兒島港發佐多大泊にて十日より十一日迄餌柔魚釣をなし八百二十尾を得徳之島に向ひ十四日十五日全島南五十曾根に從漁后荒天となり十六日十七日古仁屋港に避泊十八日喜界南曾根に出漁せるも荒天となり全島早町港に一月二十七日迄避泊二十八日喜界南曾根に二十九日アツタ曾根に出漁せるも薄漁三十日名瀬港に至り漁獲物賣却し餌料用鰯購入の上三十一日徳之島に向ひしも荒天となり古仁屋に避泊し二月三日迄碇泊氷石油補給の上四日全所發五日五十曾根に七日徳之島西沖中曾根に出漁せるも何れも薄漁にて八日面繩冲に鱗繩操業し九、十日北西風強く面繩に假泊十一日中之曾根に出漁し十二日舊式曾根に向ひしも濃霧の爲め礁を探し得ず十三日全曾根に從漁の上歸途に就きたるも荒天の爲十七日迄大島大熊に避泊十八日全所發鹿兒島に向ひ途中笠利崎開闢岬間の横斷觀測を施行し二十日歸着漁獲物賣却名瀬賣却の分を合し操業十日間投繩百二十四鉢にて瀬魚百九十八尾鱗二尾價格百七拾壹圓參拾壹錢を得本航海を以て本年度試験を終了せり本年新に出漁せる漁礁の狀態左記の如し。

五十曾根 徳之島伊仙崎南二浬附近にあり東西に長く約四浬南北に短く一、五浬にして中央以西に約五十尋の淺所有るを以て土民五十曾根と稱す底質珊瑚礁よりなり西側勾配急にして二百餘尋迄礁有り東及南側は傾斜緩にして水深百尋内外なり魚種はベンタイ、アラ、松鯛等にし

て松鯛は八十尋より百尋の比較的淺所にベンタイは百五十尋より二百尋の深所にアラは西側の百二、三十尋深の瀬粗き箇所に漁獲さるゝも何れも數少なく松鯛は魚体小型にて一、二斤ベンタイ六、七斤アラ四、五斤なり島に近き爲操業便なる漁場なり。

中之曾根(徳之島曾根) 德之島北端與名間崎より西二分ノ一南十五浬の海圖上三十九尋と記載しある附近にして二百尋内外迄の操業範圍は廣く數浬に及ぶ底質は百尋線附近迄は珊瑚礁なるも深所は砂質多く礁は所々に點在する程度にして魚種はベンタイ・松鯛・ホシザメ等にて松鯛は百尋附近に棲息し魚体小にして二斤内外ベンタイ二百尋深附近の礁にて漁獲さるゝも數少く魚体六、七斤星鱗砂地に漁獲を見る。

漁場別漁獲數種類別

合 計	喜 界 南 南 曾 根	寶 島 南 東 十 浬	獨 曾 根 岩 根	舊 式 曾 根	中 之 曾 根	一 四 六 鉢	漁 場		一 鉢 平 均	漁 獲 尾 數	漁 獲 尾 數	漁 獲 物 種 類
							投 繩 數	漁 獲 尾 數				
三 二 七	一 三 九	八 四	一 五 三	一 四 四	一 一 九	一 一 八	四 一 四	尾	二 二 八	尾	一 鉢 平 均	漁 獲 尾 數
七 二 二	一 九 七	六 七 三	一 五 四	一 四 八	一 一 三	一 一 三	四 一 四	尾	二 二 八	尾	一 鉢 平 均	漁 獲 尾 數
二 一 三	一 一 一	九 九 九	一 一 一	漁 獲 物 種 類								
ア ラ バ ラ タ イ 五 五	ベ ン タ イ 一 六 一 九	ホ タ マ ツ タ イ 一 六 一 九	ア ラ バ ラ タ イ 一 六 一 九	漁 獲 物 種 類								
ア ラ バ ラ タ イ 五 五	ベ ン タ イ 一 六 一 九	ホ タ マ ツ タ イ 一 六 一 九	ア ラ バ ラ タ イ 一 六 一 九	漁 獲 物 種 類								

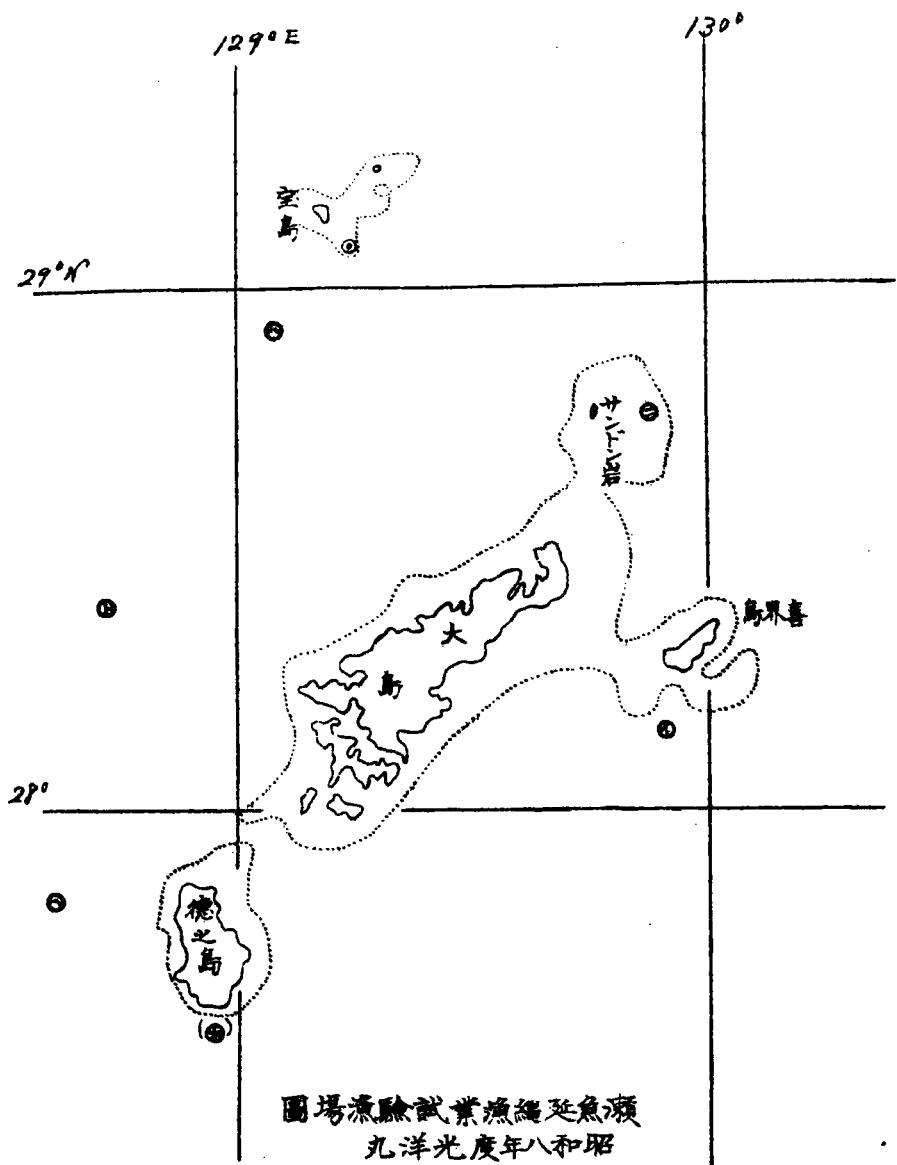
瀬魚延繩漁業表

(昭和八年度)

月日	風天向力候	及符號	漁場位置	使用工具	繩數	水表面溫	潮向速	水深	底質	種類	漁獲物	記
二十一 十九日	B NNE 2	(イ) 喜界南曾根										
十二月一 日	B NW 3											
全 十九日	全 十六日	全 十二日	全 七日	全 六日	全 五日	全 四日	全 三日	全 二日	全 一日	十二月一 日	二十一 十九日	月日
C WNW 3	C W 3	R NW 1	C NE 3	C NE 1	C NNE 1	B WNW 2	B NW 3	C NNW 2	B NW 3	B NNE 2		風天向力候
(ハ) 渦曾根	(ロ) 南東十浬島											及符號
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	漁場位置
后前	后前	后前	后前	后前	后前	后前	后前	后前	后前	后前	后前	使用工具
一六、 八〇	一〇、 九〇	二六、 二〇	六、 〇〇	六、 〇〇	七、 〇〇	六、 〇〇	六、 〇〇	六、 〇〇	六、 〇〇	六、 〇〇	六、 〇〇	繩數
6	13	12	15	15	14	20	19	15鉢				水表面溫
22,2	22,9	22,5	22,9	22,8	23,2	23,1	23,0	23,2				潮向速
W 緩	SW 緩	S 急	SE 緩	SE 緩	W 緩	W 緩	W 緩	W 緩				水深
150	100	200 250	150 220	150 220	150 220	200 250	200 250	200 250	150等			底質
全 石花	全 石花	全 全	石花			餌料						
全 マホア ツカ タバ イタラ	全 タアマ バオツ バマタ メツイ	全 ベンタ ザタ メイ	全 ベシ ンタ ザメイ	種類								
三三二 一五七	四二 五八三	四二 五五	四二 二二三	四二 二三三	四二 二八	四二 三七〇三	一六二、三					漁獲物
向荒天ノ 後六時三十五分 全所着	後七時寶島東側ニ碇泊	終漁後鹿兒島ニ向ヒ九日前〇時三十分歸着漁獲 却	終漁後喜界島ニ向ヒ后七時三十分喜界島南側ニ 碇泊	泊終漁后喜界島ニ向ヒ后八時三十分全島南側ニ碇泊	終漁后喜界島ニ向ヒ后八時全島南側ニ碇泊	碇泊	碇泊	碇泊	碇泊	碇泊	碇泊	記
荒天ノ爲十八日迄寶島休泊 向ヒシ爲后一時操業中止名瀬灣口大熊ニ		十一日迄鹿兒島港碇泊十二日后一時二十五分發 寶島ニテ鮪釣リシ七百尾ヲ得十五日全所										

二月 五 日	全 二 十九 日	全 二 十八 日	全 十 五 日	一 月 十四 日	一 月 九 日	全 二 十八 日	全 二 十七 日	全 二 十六 日	全 二 十五 日			
C NW 4	B SE 2	B SE 2	C SE 1	O SE 3	O NW 3	B N 2	O NW 4	O NW 2	B WW 2			
(木) 五 十 曾 根	(二) サ ン ド ン 岩	(イ) 喜 界 南 曾 根	(木) 五 十 曾 根						(二) サ ン ド ン 岩			
后前 一八、 五〇	后前 一七、 四〇	后前 一七、 四〇	后前 七七、 〇〇	后前 四八、 四〇	前后 六七、 〇〇	前后 三八、 四〇	后前 五八、 一〇	后前 六六、 三〇	后前 五八、 四〇			
6	13	1,	20	13	14	15	15	23	18			
19,5	20,6	21,0	20,5	21,0	21,0	21,3	21,5	21,2	21,4			
W 緩	E 緩	E 緩	N 緩	N 急	W 急	W 急	W 急	N 緩	N 緩			
150 220	180 200	200 230	180 200	150 200	100 160	130 160	130 130	130 140	130 190			
全 ム ロ	全 ム ロ	全 ム ロ	全 ム ロ	全 ム ロ	全 ム ロ	全 ム ロ	全 ム ロ	全 ム ロ	全 ム ロ			
アベ ン タ ライ	マベ ツ タ イ	アベ カン バタ ライ	ホアベ カン バタ ライ	雜アベ シタ ンタ ライ	マアベ ンタ ンタ ライ	ペアマ ンタカ タバタ イライ	ペマアマ ンタバタ タバタ イライ	白タアマ カタバタ バタタ イライ	アタ白ベ カタバタ バタタ イライ			
二五	二八	三六	三二	三一	二七	二一	二六	二五	二九			
一七、 四〇									一七、 七六			
六北 日荒 天休 泊	終漁 後名瀬 ニ向 ヒ前 三十 時四 十分 泊四 日后 十一 時三 十分 分着 荒天 ノ爲 之島 ニ向 フ	終漁 後サ ンド ン岩 ニ向 フ	荒天 トナリ シ爲 古仁屋 ニ向 ヒ后 十一 時四 十分 着上 七日 迄全 港碇泊	終漁后 全所 ニ漂泊 十九日 荒天 トナリ 前九時 全所 發早 町ニ 向ヒ 正午 着二 十七日 迄全 港ニ 避泊	終漁后 全所 ニ漂泊 十九日 荒天 トナリ 前九時 全所 發早 町ニ 向ヒ 正午 着二 十七日 迄全 港ニ 避泊	津浦 全所 ニ漂泊 十九日 荒天 トナリ 前九時 全所 發早 町ニ 向ヒ 正午 着二 十七日 迄全 港ニ 避泊	津浦 全所 ニ漂泊 十九日 荒天 トナリ 前九時 全所 發早 町ニ 向ヒ 正午 着二 十七日 迄全 港ニ 避泊	津浦 全所 ニ漂泊 十九日 荒天 トナリ 前九時 全所 發早 町ニ 向ヒ 正午 着二 十七日 迄全 港ニ 避泊	津浦 全所 ニ漂泊 十九日 荒天 トナリ 前九時 全所 發早 町ニ 向ヒ 正午 着二 十七日 迄全 港ニ 避泊	后六時 二十分 サンドン 岩ニ 鋪泊	后七時 二十分 サンドン 岩ニ 鋪泊	后六時三十分 サンドン 岩ニ 鋪泊

合	全	全	全
計	十三日	十一日	七日
	B NW -1	B SW 1	B NW 3
(ト)舊式曾根	全	(ヘ)中ノ曾根	
后前	后前	后前	
六八、 二五	五八、 二〇	四九、 一〇	
327	14	16	12
	20,0	20,2	20,0
SES	SW	NNW	
急	緩	緩	
250	130 200	150 240	
全	全	全	
全	全	全	
雜フ オ マタ タツ カイ	ア白アタマアホホマベ カシツン バタバザ メイラメタイイ	雜マベホアマベ ツンツン タタタ イイタライ	雜フ シン ガタ カメイ
一四 三八八 二一七二 一一四九	一四 三八八 二一七二 一一四九	一四 三八八 二一七二 一一四九	一四 三八八 二一七二 一一四九
六〇三 四			
却ノ爲上二十日前五時○五分鹿兒島港錦着漁獲物賣行終漁后名瀬ニ向ヒ十七日迄全所碇泊十八日前五時三十分着荒天ノ爲上二十日前五時○五分鹿兒島港錦着漁獲物賣行終漁后舊式曾根ニ向ヒ十四日前○時三十分着荒天ノ爲上二十日前五時○五分鹿兒島港錦着漁獲物賣行終漁后面繩ニ向ヒ後七時着十日迄荒天ノ爲全所碇泊シ得ズ阿室ニ向ヒ後二時三十分全所着			



製 造 部

鰹節製造傳習並試験

本縣重要物産にして又水產製品の王座を占むる鰹節の改善發達を圖るため前年に繼續して本傳習及試験を施行せり。

一、傳 習

期 間 昭和八年三月十五日より七月末日迄

場 所 指宿郡山川町鰹節製造所

方 法 主として靜岡型鰹節の製造法に則りて製造し男女子十九名の傳習生を採用して實技傳習をなせり。又傳習原料を豊富ならしめむ爲め山川町漁業組合と共同して製造せり。使用原料鰹九、二五八尾二一、九〇七匁（六一〇八貫）其金額五四五九圓二九錢にして製品四、四二五匁（一一八〇貫）を得たり。

共同製造收支計算

山川町漁業組合と共同製造に係る經費の收支計算は收入に於て七六八〇圓八四錢支出は六八〇九圓四四錢にして差引利益金八七一圓四〇錢なり。

傳習終了者 傳習生一名中途退所せしに依り十八名終了せり。終了者左の如し。各々民間製造場に配置し就業せしめたり。

二年終了者

鮫島 直 米倉 キクエ 松林 ヨシエ 中田 ハヤ子 篠原 クニ 河野 靜乃
鮫島 キク子 福迫 富子

一年終了者

牧 信男 福里 ミチ 藤坂 キミ子 中村 シゲ 折田 シヅ 松下 ツルエ
瀬戸山 アサエ 永山 サミエ 中田 ワカ 石井 益榮

二、試験

本試験は右傳習期間中に施行せしものなり。

(イ) ネトカビ豫防試験

六月十日四貫五〇〇匁の鱈十尾を龜節型に卸し前年の如く試験節と標準節となし試験節には稀薄なる鹽酸〇、五%苛性曹達〇、五%を添加して普通の製法に依り三回焙干して後オトの發生状態を調査せり。十三日（切込後四日目）試験節も標準節も同様にネトの發生を見爾後益々擴大せり。依て右薬品添加の効果を認め得ざりき。次年度に繼續して他の薬品に付き試験せむ。

(ロ) 湯割防止試験

原料良質のものに限り煮熟の際兔角湯割れを生ず。之が防止の爲め六月十五日鱈四貫五〇〇匁内外のもの二十尾に付き本試験を施行せり。即ち龜節型に卸し試験節は籠立する際煮籠の底に帆布を敷きて籠立し更に上より餘りし帆布を折り被せ標準節は普通の製法に依り籠立し兩者共沸騰水に入れて絶えず沸騰せしめ三十分にて煮揚げたり、煮揚後の原料を精査するに布を被ひたる試験節の方遙かに湯割れ少し此の結果より推論すれば籠立のとき煮籠に布を敷き又は被ひし方良結果を得。

大羽鱈利用製造試験

冬季縣下至る所に曉産し價格低廉なる大羽鱈の利用方法講究のため前年に繼續して左記製造試験を實施せり。

一、トマートサザン製造試験

本年度は中央水産試験場統制の下に各府縣水産試験場と連絡して夫々試験する事とし本場は原料處理に付き擔當試験せり。

時 期 昭和九年二月六日より同月十八日迄

場 所 川邊郡枕崎町縣立枕崎水產學校内

(イ) 原料處理焼乾に依る製法 (D印)

原 料 刺網に依り漁獲せられ体長二〇釐、重量八一瓦内外の大羽鱈を用ひたり。

處 理 原料は先づ母氏一度の食鹽水にて洗滌水切後頭部尾部を切斷し其際胸鰭は頭部に附着せしめ、腹部は切開せずして臍臍を同時に除

去し母氏三度の食鹽水にて洗滌水切を行ふ。

燻乾 尾部を串に刺し燻室にて二時間燻煙す燻室溫度は攝氏六五度内外なり。斯くして燻了せしものを燻室より取出し約十二時間放冷す
肉詰 放冷せし原料は一ボンドオーバル罐に三九四瓦（一一尾）ヲ假詰にせり。

加熱脱氣 蒸釜にて攝氏一〇〇度八分間加熱し過量の浸出液を除去せり。

トマト液注入 一罐に付きトマト液六八瓦注入せり。

トマト液調製法は連略試験規格に依り本縣佐多村產業組合製の「トマトビューレー」比重一・〇三のものを用ひ「ビューレー」六〇瓦燒鹽八瓦の割合に配したるものを用ひ攝氏八〇度に加熱し注入せり、而して直に巻締めたり。

殺菌 一〇封度一時間

冷却 冷水中に約三〇分投入冷却せり

製了罐 一〇五罐を得たり

歩留 原料重量 九〇、五六〇瓦

處理後重量 五四、〇〇〇瓦

燻乾後放冷後重量 四二、九〇〇瓦

(ロ) 原料處理壓搾焙乾による製法 (A印)

原料處理に前項と同様處理せし原料は金網に一列に並べ更に金網をのせ原料を並べる事五段に重ね其の上に板をのせ重石を加へて壓搾す。後原料を「セイロ」に移し焙干室に入れて攝氏七〇度一時間焙乾せり、而して放冷後一ボンドオーバル罐に三九四瓦肉詰し前項の如く加熱脱氣、トマト液注入、殺菌冷却し製了せり。製了罐五六罐を得たり。

歩留 原料重量 五一、七二五瓦

處理後重量 三二、六二五瓦

壓搾後重量 三一、一二五瓦

焙干後重量 二三、〇六二瓦

(ハ) 原料處理壓搾風乾による製法 (C印)

原料處理壓搾は（ロ）の方法と同様なり。風乾は原料を「セイロ」に並べて風乾せり。肉詰は前同型罐に四一二瓦詰め加熱脱氣は蒸釜にて攝氏一〇〇度一三分間、爾後の工程は前同様なり。右排氣の際八分間加熱せしも尙原料に多量の水分を含ませしを以て更に五分間加熱續行して除水せり。

製了罐一一八罐を得たり。

步留	原料重量	九〇、七五〇瓦
	處理後重量	五四、三七五瓦
	壓搾後重量	五三、二五〇瓦
凡	午後重量	四八、七五〇瓦

(ニ) 原料處理蒸煮による製法 (B印)

原料の除頭臓、洗滌は前項と同じ其の原料を一ボンドオーバル罐に四五〇瓦詰め蒸釜にて攝氏一〇〇度一五分間蒸煮し浸出液を除去せり。前述(ハ)項の如く八分間加熱にては除水量少く過量の水分を含ましかば更に七分間續行加熱し除水せり、斯くして前法同様トマト液注入巻締殺菌後冷却せり。製品一九六罐を得たり。

步留	原料重量	一六六、一二五瓦
	處理後重量	九九、三〇〇瓦

尙比較する爲め左記基準法に依り試製せり。

基準製造法

一、原 料 体長二〇糀、重量八一瓦内外の大羽鰯

二、原料の處理

- 1、母氏二度の食鹽水にて洗滌切りす
- 2、頭部の切斷（胸鰭を頭部に附着せしむ）腹部を切開せずして臓腑を除去す
- 3、母氏三度の食鹽水にて洗滌水切す
- 4、焙乾 原料を「セイロ」に並べ焙乾室に入れて攝氏一〇〇度三五分間焙乾せり

5、放冷 一二三時間放冷す

三、肉詰 一ポンドオーバル罐に四一〇瓦二段詰に肉詰す

四、加熱脱氣 蒸釜にて攝氏一〇〇度八分間加熱し浸出せし水分を除去しトマト液六八瓦注入直に巻締せり。トマト液調製法は前項(イ)の方法に依る

五、加熱殺菌 一〇ポンド一時間加熱す

六、冷却 冷水中に三十分投入冷却す

七、歩留

原料重量

四一、二一一瓦

處理後重量

二五、五〇〇瓦

乾放冷後重量

二〇、二五〇瓦

製了罐

四八罐を得たり

以上五種類の異りし製法に依り試製せし製品を開罐精査せしに大体左の結果を得たり。

一、トマソースの色澤良好ならず

二、(イ)の製法は除水過ぎたる感あり

三、風味は何れも相當あり

尚次年度に繼續して試験す。

二、香味干罐詰試験

トマトサーキン製造試験と同時同所にて施行せり。

製法 大体前年の如く味淋干製造の如く原料を處理し焼干放冷後直ちに一ポンドオーバル罐に三〇〇瓦肉詰めし蒸釜にて攝氏一〇〇度八分間排氣後調味液五〇立方厘米注入巻締殺菌せり。殺菌は五封度一時間加熱せり、製品一三四罐を得たり。

歩留

原料重量

一四七、〇〇〇瓦

處理後重量

七五、五六〇瓦

焼干放冷後重量

四〇、二〇〇瓦

製品は品評會即賣會等に出陳して相當の成果を得たり。

三、香 味 干

大羽鱈五五疋を使用し製品一二疋を得たり。

製法 櫻干製造と同様なる方法に依り頭、骨、内臓を除き腹開きとし一日日乾す。稍表面乾燥せし時炭火にて軽く焙炙す、焙炙したものは綺麗に整形し、醤油一立と砂糖一八〇瓦の調味液に浸漬して日乾製了す。

生 產 費

項 目	數 量	金 額	備 考
鱈	五五疋	二、五〇圓	
調味液		三、五〇	
炭		八〇	
人夫賃	二、四〇		
計	九、二五		

製品へ水產物即賣會に出品し頗る好評を得たり。

四、滿洲向製品製造試驗及試賣

大羽鱈は自一月至四月寒冷の季本縣沿岸一帶に亘り廣範圍に漁獲せらるゝも豐漁の際は價格暴落するを以て製法容易にして大量的に處分し得らるゝ糠漬、鹽漬に試製し前年度に繼續し滿洲方面に試賣して販路の開拓を圖れり。

一、鱈 糠 漬

二月六日より三月二日迄出水郡阿久根町製造場に於て之れを行ふ。

經 過

1、原 料 出水郡阿久根町地先にて刺網にて漁獲せられたる体長一八種内外のものにして脂肪比較的多し。

2、處理

(イ) 假漬 前記大羽鱧を鹽水にて綺麗に洗滌し汚物を除去す、充分水切りしたる鱧四〇匁に付き二等鹽六立を加へ四斗樽に鹽漬とし上部に蓮を覆ひ一二匁位の壓力を加へ三日間假漬を行ふ。

(ロ) 本漬 假漬を終りたるものは籠に取り上げ水分を除去し蔭乾す、次に充分乾燥せるものに豫め用意し置ける米糠五立に二等鹽一立を加へたる配合剤を充分魚体表面に附着せしめ樽に鱧と層々に漬け込み製了す。

歩留 原料四七〇匁より製品二八〇匁を得たり。

生産費

品目	数量	金額	備考
鱧	四七〇匁	八、四〇圓	
米糠	一〇〇立	四、七六	
人夫	五五立	六〇	
計	三人	一、八〇	
	一五、五六		

荷造方法

製品は石油函三〇匁入りとし町壁に並べ釘付したる函は更に蓮にて包み横二條、縦一條の繩を掛け荷造包裝す。

二、鱧鹽漬

経過

1、原料 前記鹽漬と同様なる鱧を用ひ阿久根製造場にて行へり。

2、製法

新鮮なる大羽鱧四〇匁に付き二等鹽六立を加へ撒鹽とす上方に蓮を覆ひ約一二匁の輕壓を加へ三日間放置し水分を浸出せしめたる後鹽水にて綺麗に洗滌水切りす、出荷の際、鱧一五匁に付き合鹽として鹽一立を加へ石油函入りとせり。

歩留 原料三五疋より製品一五〇疋を得たり。

生産費

品目	数量	金額	備考
鱈	一二五疋	四〇〇圓	
食鹽	四五立	一八七	
人夫賃	一人	六〇	
計	六、四七		

荷造 鹽漬鱈と同様なり。

試賣

経過 昭和七年鱈鹽漬を大連及び奉天に試賣したるに大連にては石油函一函當り七拾錢の純利益を得又奉天は一函當り貳圓六拾錢の欠損を見たるも試賣僅かに一回にして數量も少く爲めに其の結果を斷定し能はざるを以て更に本年度に於ては之れが試賣を行へり。豫め奉天並に大連商工會議所の紹介に依り三月五日奉天の満洲市場株式會社及び桃井洋行並に大連の合名會社小幡洋行及び西園慶助商店宛鱈製品市況調査を依頼したる處左記三ヶ所より大要左の如き回答に接したり。

満洲市場株式會社 奉天市青葉町三十一番地

目下各地より入荷多量のため安價なるも送付せられ度く 尚ほ相場として

開干鱈 一尾 = 付キ 一錢ヨリ八厘

糠漬鱈 四斗入樽一個 六圓一五圓

鹽漬鱈 四斗入樽一個 五圓一内外

桃井洋行 奉天市加茂町五番地

目下他地方の鱈製品は澤山取扱ひ居れり。荷造は箱入庭包とし五個位送付せられ度し

尙ほ手數料として販賣高の一割を申受く。發送方法としてはなる可く船便を用ひ大連市武藏町昌園公司運送店を經由せられ度し。

西園慶助商店 大連市信濃町市場

鱈製品は目下他の魚類多く且つ今後日に増し暖くなる故見込なし。相場として百斤貳圓位にして鱈の生物及鱈魚各地より多大の入荷あるため送付見合す事。

以上の如き回答に接せるを以て奉天市満洲市場株式會社宛醣漬一函醣漬一函並に桃井洋行宛醣漬三函醣漬一函試賣のため發送したるに桃井洋行よりは未だ回答に接せず、目下交渉中なるも満洲市場株式會社よりは醣漬一函貳圓五拾錢、醣鹽漬一函貳圓にて販賣せられたる由回答あり。今石油一函當り收支決算を表示すれば次の如し。

販賣先	品名	數量	收入	生產費	支
				運	船
				陸上	上
株満奉	鱈醃漬	三、五	一、五	全	金
式洲天會市	鱈醃漬	二、〇	一、五	吾	吾
社場市	鱈醃漬	一、〇	一、〇	三	三
				三	三
				圭	圭
				四、〇	四、〇

尙ほ試賣結果に就いて四月十五日附滿洲市場株式會社より大要次の如き報告あり。

最近満洲産鮮魚の出廻り季節に向ひ多量入荷に付き安價を呼び之れが爲め鹽藏物の賣行面白からず。

賣行時期は十二月より二月迄にて之の季節は邦人向甘鹽のもの割高にして滿洲人には鯉程嗜好せられざるも朝鮮方面より入荷せらるゝ値段は邦人向甘鹽もの十貫八圓一拾圓位邦人向辛鹽のもの十貫六圓一七圓位なり。

考
察

昨年より一ヶ年の試賣結果より之れを考察するに

(一) 蘭洲方面は冬季結氷中は鮮魚少くためて醤製品多量販賣せらるゝも春季より夏季迄至るに従い鮮魚貿易となり販賣(販賣)。

(二) 支出頗る大なるは輸出數量少くために運賃割高のためなり。

(11) 本縣より満洲國への鰯製品の輸出は大羽鰯の貿易地たる朝鮮及び日本海府縣に比し地理的に頗る不利なる状況にあり、且つ相當多額の

雲舟製造試験

四四

趣旨 本縣沿岸到る所に曉産する海膽は僅に一部生食又は肥料に供せらるゝ外殆ど利用せられず。仍て之れが利用の途を講ずるため前年度のウニ生殖素調査を實施せしが本年度より之れが製造試験を行へり。

一、紫ウニ製造試験

前年度調査に依り紫ウニは四月最も生殖素量多きを確めたるを以て四月出水郡阿久根町製造場に於て之れが試験を施行せり。

原 料

阿久根町佐潟沿岸に産する紫ウニは四月最も生殖素量多きを確めたるを以て四月出水郡阿久根町製造場に於て之れが試験を施行せり。

處 理

採集したる海膽は「トロバコ」入りとし製造場に搬入死亡を防ぐため絶えず海水を振り掛けける。

製 法

海膽を裁割臺上にて二つに割り叮嚀に生殖素を集め豫め樽中に用意せる海水にて綺麗に洗滌し血液汚物を除き生殖素四匁に對し二等鹽一立及び赤二黄一の割合に混合したる食用着色劑並に少量の焼酎を添付し叮嚀に木綿上に並べ下方に薬灰を敷き一晝夜放置して水分を充分吸收せしめ脱水を行ふ。脱水されたものは竹籠にて集め樽に詰め冷所に貯藏す。

歩留 紫海膽三三六〇匁を使用し製品一六五匁を得たり。

生 产 費

品名	數	量	金額	備考
海膽	三三六〇匁	一一二六、一二七圓		
食鹽	四五立	二六、一七		
燒酎	一〇立	四、〇〇		
人夫	六一人	三六、六〇		
計	二六九、〇四			

結 果

製品は味頗る良好なるも少しく水分多く色澤稍不良なるを以て更に除水、色澤保存に就いて試験せんとす。
製品は水產物即賣會其他各種品評會に出品したるに頗る好評を得たり。

二、馬糞ウニ製造試験

馬糞ウニは紫ウニの如く產額多からず、分布も縣下一部分に限定さるゝも製品頗る良好なるため七月阿久根製造場に於て之れが試験を行へり
原 料

前記紫ウニと同様阿久根町佐鴻沿岸より採集す大きさ皆小さく直徑三厘のもの大部分を占む
處 理

前記紫ウニと同様なる方法に依り製造場に運び直に製造に着手せり。

製 法

包刀にて吻部を薄く二つに割り母指を以て叮寧に生殖素を取り鹽水にて汚物を洗ひ取り生殖素四疋に付き二等鹽一立を加へ充分攪拌混合す次
に簀上に木綿を擴げ木綿上に生殖素を並べ一夜水切りを行ふ。水切りしたるものは適當なる容器に入れ冷所に貯藏す。
生産費は一立に對し壹圓七拾五錢なり。

結 果

馬糞雲丹製造試験は製造數量も少く廣く試賣品評を求め得ざりしも水產物即賣會に試賣したるに賣行よく好評を博せり。

淺草海苔養殖と相俟つて之れが製造試験を昭和九年二月中旬以降三回に亘り縣下姶良郡東國分村漁業組合に於て施行併て指導をなせり。

採集海苔は海水にて洗滌し擗別臺にて塵埃珪藻其他の狹雜物を除去し母氏三度の鹽水にて再洗し水切りをなし細斷し僅少の振盪を施せり然而
原料一、八立（一升）に對し水一七立（一斗五升）の割合にて能く混攪し抄製す。廣島式乾燥枠を使用し十枚を一帖として結束したり。
尙ほ試験成績を示すに次の如し。

- 第一回　自昭和九年一月十二日至一月十七日に於て原料七九、二立（四斗四升）を使用し一、九九七枚を得たり。
- 第二回　自全年三月一日至三月八日に於て五七立（三斗二升）を使用し一二九四枚を得。
- 第三回　自全年三月十七日至三月二十日に於て原料一八立（一斗）を使用し五一五枚を得たり。
之等製品を試賣せるに一帖拾五錢より拾八錢にて販賣せられたり。
- 製品は少しく硬質にして色澤稍劣れり。

養殖部

淺草海苔養殖試驗

趣旨 本試験は前年度よりの繼續事業にして既に出水郡米ノ津町附近に於ては相當の成績を收め得たるが鹿兒島灣内には尙未開拓の好適水面存在するを以て此等水面の利用更生を計り併て淺草海苔養殖に關する各種條件に就き試験せり。

試驗場所

始良郡隼人町

同 墓
新 川 尻

同東國分村

漢
材
料

附近に於て最も安價に購入し得らるゝ竹とし真竹（方言こさんだけ）及女竹を使用せり。

水 戸 川	新 水 川	清 水 川	月 日	數量(本)	水溫比重	月 日	數量(本)	水溫比重
全 右	自十一月三十一日 至十一月三十一日	一〇〇	一〇〇	四〇〇	一・〇三	自十一月三十日 至十二月二日	九七	一・〇一九
一 三	十一月三十日	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一・〇三	十一月三十日	一〇〇	一・〇三
一 〇 一	自十二月三十日 至十二月三十日	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一・〇一	一 〇 一	一 〇 一	一・〇一七

備考 水温比重は築建期間の正午観測を平均せるものなり。

浜建粗密及浜竹傾斜方向

各試験地共に浜場を數ヶ所に分ち最も浜建の密なるは左右の間隔一尺前後の列の距り二尺とし最も粗なるは左右二尺前後の列の距り十尺とせり。

而して各浜場に依り浜竹各方面に約五十度の傾斜を爲さしめたり。

成長度

		清 水 川		新 川		水 戸 川	
成 長 度							
十二月一日							
十二月十六日							
十二月二十八日							
十一月七日							
十一月二十三日							
二月一日							

十二月 二十三日	清 水 川 尻		
	平均ノ大サ 四、〇 概	總採取量 一〇、五 升	箇一本當ノ量 〇、〇七 升
二月 十三日	新川尻	一〇〇"	
	水戸川尻	一五〇"	

海苔附着量

肉眼にて胞子附着の遅速を觀察するに胞子の着生を見るは沖合程度にして漸次陸岸に及び且つ浜竹の最下層より中層上層に及ぶ。

海苔附着の遅速

清水川尻	新川尻	水戸川尻
一五〇纏	一〇〇"	一五〇"

試験地三ヶ所共水深異り且つ試験地は何れも大干潮時に露出する個所なるを以て大干潮面以下の附着層は測定し難きも地表よりの附着層の長さ平均左の如し。

海苔附着等に就て

三月 五日	三月 十九日	二月 十三日	全 上
前回採取ノ爲採取 前回採取ノ爲未ダ生長セズ、平均長 三纏以下ナリ、第二回製造ノ爲採 海苔附着粗トナリ色澤惡ク腐敗セル モノアリ、良好ノモノ、ミ採取ス 比氣溫一八・六 水溫一四・五 比重一・〇四	前回採取ノ爲未ダ生長セズ、平均長 三纏以下ナリ、第二回製造ノ爲採 海苔附着粗トナリ色澤惡ク腐敗セル モノアリ、良好ノモノ、ミ採取ス 比氣溫一八・六 水溫一四・四 比重一・〇三	前回採取ノ爲採 前回採取ノ爲未ダ生長セズ、平均長 三纏以下ナリ、第二回製造ノ爲採 海苔附着粗トナリ色澤惡ク腐敗セル モノアリ、良好ノモノ、ミ採取ス 比氣溫一八・六 水溫一四・四 比重一・〇三	前回調査ノ際ト略全様 前回採取ノ爲採 前回採取ノ爲未ダ生長セズ、平均長 三纏以下ナリ、第二回製造ノ爲採 海苔附着粗トナリ色澤惡ク腐敗セル モノアリ、良好ノモノ、ミ採取ス 比氣溫一八・六 水溫一四・四 比重一・〇四
第二回浜建ラナセル陸岸ノモノハ極 メテ少量海苔附着セルモ生長セズ 第一回ノ沖浜場ハ相當密シ附着スル モ青海苔生長ヲ初メタル 比氣溫一三・八 水溫一四・五 比重一・〇三	第一回ノ沖浜場ハ相當密シ附着スル モ青海苔生長ヲ初メタル 比氣溫一三・八 水溫一四・五 比重一・〇三	第二回浜建ラナセル陸岸ノモノハ極 メテ少量海苔附着セルモ生長セズ 第一回第一回共平均長サ三一四纏ニ生 長セリ、製造ノ爲採取 比氣溫一三・〇 水溫一三・二 比重一・〇三	第二回浜建ラナセル陸岸ノモノハ極 メテ少量海苔附着セルモ生長セズ 第一回第一回共平均長サ三一四纏ニ生 長セリ、製造ノ爲採取 比氣溫一三・〇 水溫一三・二 比重一・〇四
何レモ粗ニ附着シ腐敗ヲ初メタルモノ アリ、色澤惡シ 比氣溫一三・〇 水溫一三・七 比重一・〇三	何レモ粗ニ附着シ腐敗ヲ初メタルモノ アリ、色澤惡シ 比氣溫一三・〇 水溫一三・七 比重一・〇三	何レモ粗ニ附着シ腐敗ヲ初メタルモノ アリ、色澤惡シ 比氣溫一三・〇 水溫一三・七 比重一・〇三	何レモ粗ニ附着シ腐敗ヲ初メタルモノ アリ、色澤惡シ 比氣溫一三・〇 水溫一三・七 比重一・〇三

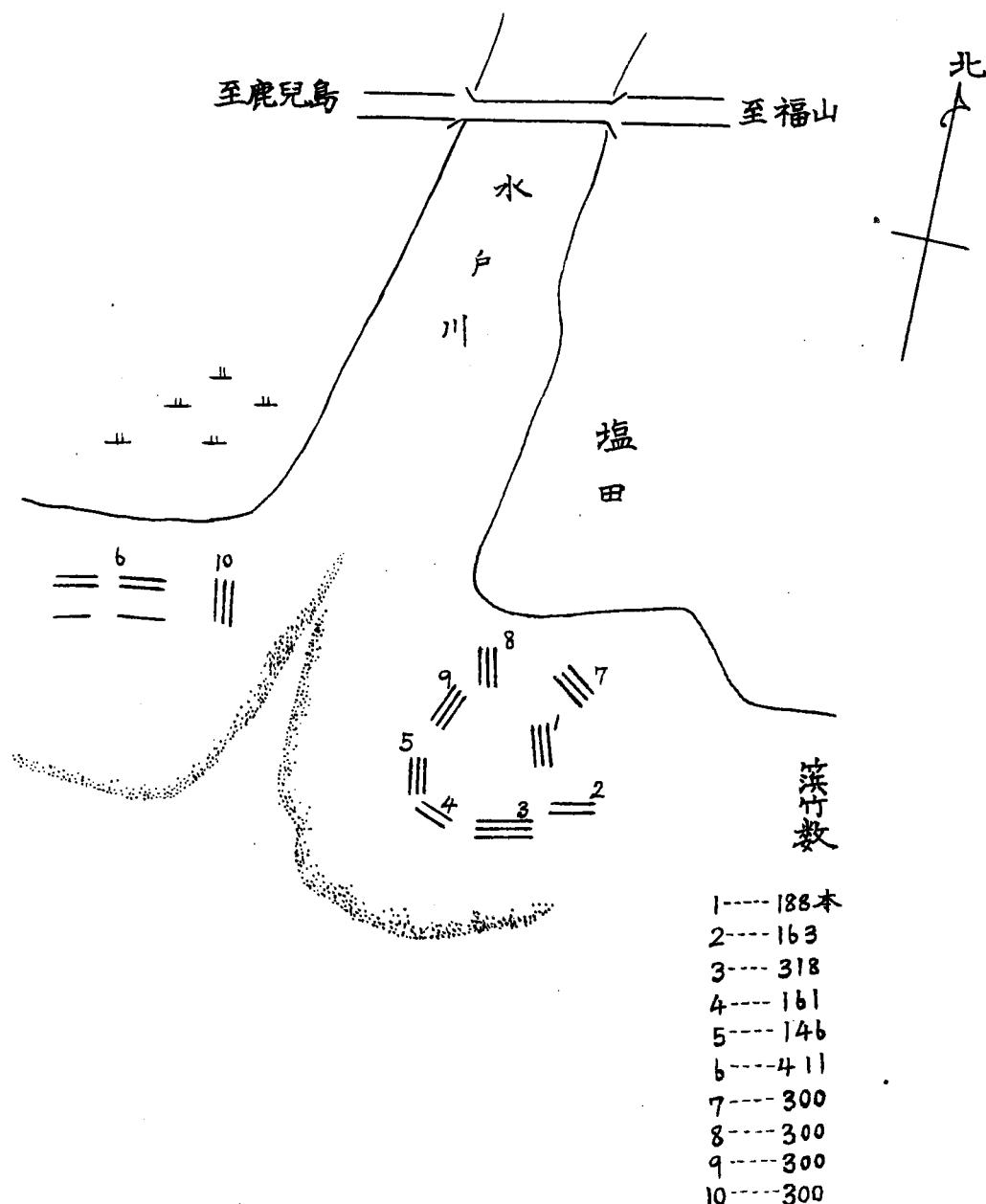
	三、三	五、三
計	二、五	一、五
	一、八	一、八
	一	一
	三、五	三、五
	四、〇	四、〇
	一、〇	一、〇
	三、〇	三、〇
	六、〇	六、〇
	三、六	一、六
	一	一

摘要

要

- (一) 本縣に於ては海苔胞子附着最も良好なるは水溫一五、〇比重一〇二五〇前後なり。
- (二) 築建場所は大干潮時に露出せざる冲合程附着量並に成長度良好なり。
- (三) 築建は可成相密にしたる方良好にして築の傾斜方向及築建列の方向は海苔胞子の附着及生長に甚しき關係を有せざるが如し。
- (四) 今回の試験地三ヶ所を比較するに清水川尻及水戸川尻最も成績良好なり、何れも田用水を引用する極めて小なる河川にして耕地よりの肥料成分の流出するに依るものなるべし。

水戸川尻浅草海苔試験地



シシブシ移植試験

五二一

試験旨 前年度よりの繼續試験にして昭和六年七月十一日本縣熊毛郡馬毛島產トコブシを贈於郡志布志町夏井地先東部試験地に廿貫目、試験地に廿八貫目を放流して成長繁殖其他に付試験せり。

試験經過 本年度は放流後第三年目に當り九月十二日に潛水夫四名を使役し、試験地一圓に亘り調査したる結果左の如し。

西 試 驗 區	取揚總數量		坪當り數量
	數	量	
三	一四〇三、五	瓦	七、三
三	八二、五	瓦	二六、五

大小混合割合

東	區		
	計	小	中大
東	中 一小	中 一大	大
數	三	三	三
重 量	一五〇	一五〇	一五〇
備 考	五二、五	五二、五	五二、五
一年生稚介	三五、二	三五、二	三五、二
西	區		
	計	小	中大
西	中 一小	中 一大	大
數	三	八	三
重 量	一五〇	一五〇	一五〇
備 考	八二、五	八二、五	八二、五
一年稚介	三三、八	三三、八	三三、八

体形調査

東區

殼長	大	殼長	大
重量		重量	
殼長	中	殼長	中
重量	ノ大	重量	ノ大
殼長	中	殼長	中
重量	ノ小	重量	ノ小
殼長	小	殼長	小
重量		重量	

西區

殼長	大	殼長	大
重量		重量	
殼長	中	殼長	中
重量	ノ大	重量	ノ大
殼長	中	殼長	中
重量	ノ小	重量	ノ小
殼長	小	殼長	小
重量		重量	

繁殖状況

東試験區に於ては二寸五分以上の大型を放養せるも、本回の調査に依るに一年介一二年介と推定せらるゝもの相當生棲せるは明に曩に放養せるものが繁殖せるものと推定せらる。

西試験區に於ては、一年介一二年介と推定せらるゝもの比較的僅少なりしは、放養介が未だ生物學的最小形に迄達せずして今後に於て繁殖すべきものと思考せらる。

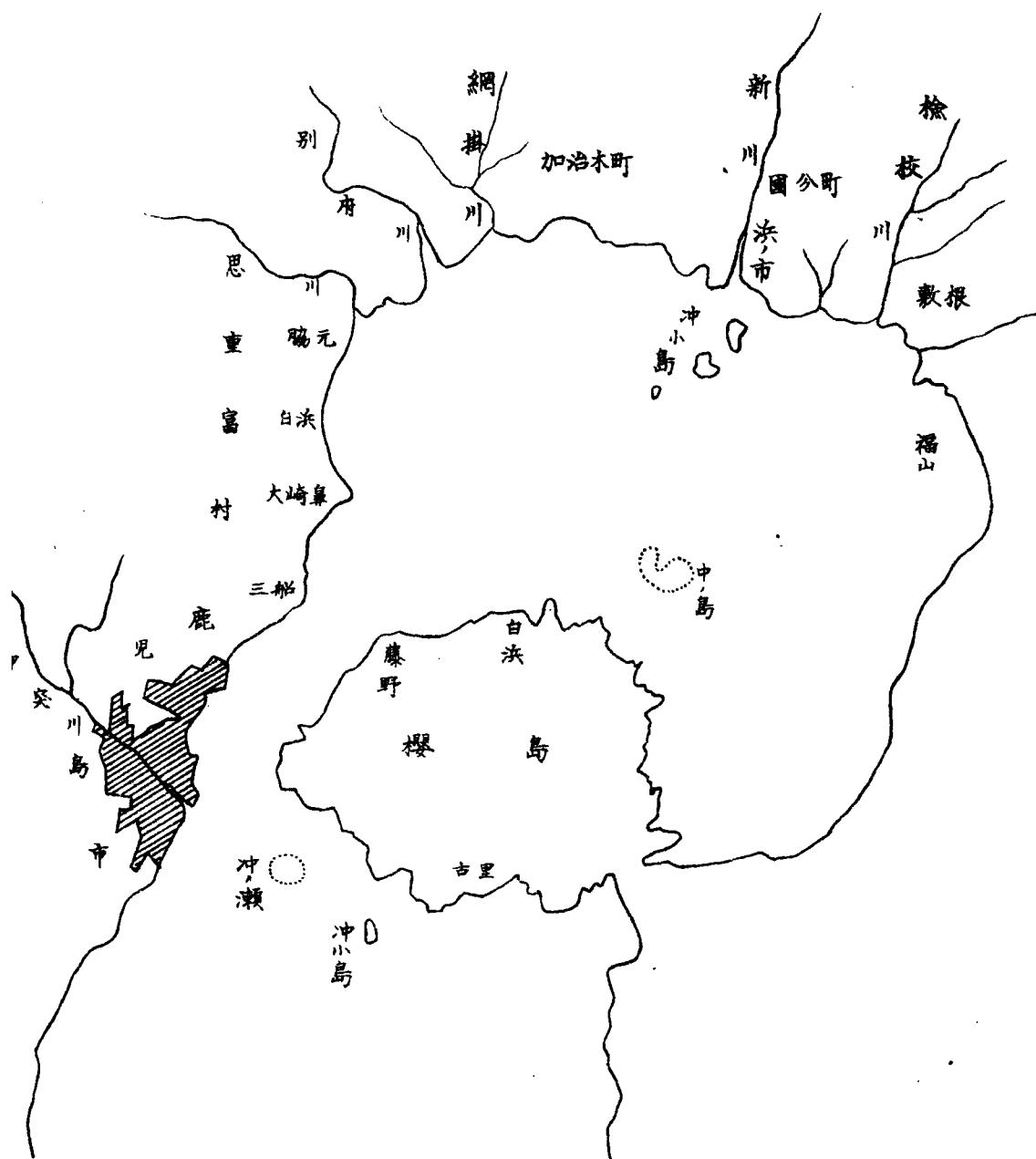
摘要

- (一) トコブシは大体三年乃至四年を経過して生殖作用を營むものと認めらる。
- (二) 現狀に於ては兩試験區共相當の成績を示し生長繁殖しつゝあり、兩區の繁殖狀況は坪當り五個強を示す。
- (三) 夏井附近のトコブシ繁殖好適條件區域は相當廣汎に亘る故に監視良しきを得尙努めて害敵驅除を勵行せば相當の生産を擧げ得べしと信ず。

海產稚鮎連絡試験調査

水產試験場に於る全國各府縣連絡試験の海產稚鮎利用試験中其の回游調査地に參加し調査地を始良郡重富村白濱に定め一月上旬より漁場の地勢狀況河川との關係、鮎群の回游狀況、餌料、漁場の觀測等を調査せり。其の概要左の如し。

漁場附近略圖



稚 鮎 洞 游 調 査

稚鮎漁場名及位置		始良郡重富村地先 白濱附近							
漁勢 場及 ノ状 況	重富村地先ハ湾奥部ト外洋(鷲内櫻島以南)トノ中間ニ當リ。其ノ咽喉部ヲ扼シ、魚群ノ去來ヲ観察スルニ便ナル個所トス								漁場略圖 (別紙)
河川トノ關係	鹿兒島灣奥部ニハ新川、別府川、網掛川等ノ鮎ノ潮上多キ。河川注入シ漁場ノ東約五町ニ思川アルモ。全川ハ淡水ノ注入殆ドナク。川幅モ八間ヲ超ヘズ。鮎ノ潮上ナシ								
稚 鮎 群	時刻	天氣	風向	風力	氣溫	水溫	比重	涸游ノ方 向	漁場ニ見 出サル、 他魚族
最初發見日 2月15日	午前 6時分	b	NW	3	6,3	om	15,2	26,6	E たれくち
盛漁期 自月日至月日	主=午 前後時	-	-	-	-	om	-	-	-
最終發見日 月日	午前後 時分	-	-	-	-	om	--	-	-
最初ニ發見セル魚群ハ約250尾程ノモノニシテ。當時三分上潮ナリ爾後5月下旬迄ハ朝夕二回規則正シク沿岸ニ接近シ方向ハ朝ハN夕ハSニシテ魚群ハ大小不同ナリ當晝間ハ灣内中央部沖合中層ヲ游泳シ夜間ハ再ビ表層ニ浮ヒテ沿岸ニ近ヅク									
項目 月	旬別 日數	觀測 天氣	風向	風力	氣溫	水溫	比重	稚鮎群 發見ノ時刻	鮎群 發見回數
漁 場	二 上旬	-	-	-	-	-	-	A.W	-
	中々 2,15	b	NW	3	6,0	15,0	26,6	" 6,00	234 コチ、キス、タレクチ
	下々 2,26	C	W	-	7,4	14,6	24,9	" 11,00	500 ウミタナゴ、ボラ
觀 月	三 上旬	3,5	S	W	2	3,8	13,7	25,0	14 フグ、キビナゴ、イカ
	中々 3,15	C	W	1	3,6	13,7	24,0	" 6,00	一様ニ散在
	下々 3,26	C R	W	0	16,0	14,5	12,0	" 6,30	14
測 月	四 上旬	4,9	C	SE	120	3	16,0	24,0	500
	中々	-	-	-	-	-	-	-	-
	下々 4,25	C	SE	122	5	18,6	20,0	" 11,45	混濁不明
漁場ニ於ケル稚鮎ノ餌料		Copepoda spp. C. C. Larval stage of copepoda C. C. Ceratium spp. +. +. Corethon sp +. +. spores of Algae C. C. Rhizosolenia sp r. Diatomaceae r. r							
稚鮎ノ去來ノ滯留ニ影響 ヲ及ぼスト思惟セラル、 條件		未ダ詳ナラズ							
備 考	潮上時期ニ到ルモ海中ニ殘留スルモノ有リテ。五月下旬全地ノ地曳網ニ7,0Cmニ達スル稚鮎ヲ認メタリ 灣内ニ於ル鮎群ノ成長度ハ平均二月上旬ニ全長5,16Cm 三月中旬5,43Cm 四月中旬6,50Cmトス 而テ一月中旬甲突川(鹿兒島市貢流)下流ノ大地曳ニ鮎ノ多數混在シ其ノ當時ニ於テ重富村附近ニハ鮎群ヲ見ズ。依ツテ鮎群ハ外灣(櫻島ヨリ鹿兒島灣口附近迄)ヨリ洞游シ途中各地ニ滯留シ 灣奥ニ達スルハ一月下旬乃至二月上旬ニシテ各々數個ノ魚群ニ分レ灣奥部ヲ洞游シ 大部分ハ三月乃至五月ニ河川ニ潮上スルモ尚海中ニ殘留スルモノモアリト思考セラル								

調査部

海洋観測

目的 本調査は海の性状を究明し魚族の移動廻遊其の他の研究資料に供せんとするものなり。

経過成績 前年に引き次第三部に分ち観測せり。

- 一、横断観測（開聞岬より屋久島を経て大島に至る）
- 二、沿岸横断観測（肝付郡、川邊郡、薩摩郡、各沿岸）
- 三、鹿児島湾内定點観測

一、横断観測

本観測は開聞岬より屋久島一湊に至り一湊より六島に向け十浬毎に十五観測點を設け二月、五月、八月、十一月年四回各點表面二十五米、五十米、百米、百五十米の五層の水温比重を測定するものなるも本年は外に三月、十月の二回を加へ尙五月観測は横當島西八十五浬間六點日本海一齊調査に依る十月は横當島西百〇八浬點を得て更に坊の岬に至る間を二十浬毎に十七點を観測せり。

開聞屋久島間

二月

水温 南部上層に高く北部に下層に低く十八度線はC點上層より十七度線はB點上層より何れもD點下層部に達しA點下層に十五度線を見る前年に比し約一度の低温なり。

比重 D點層よりC點中下層二五、九〇の比重を見る外は何れも二六、〇〇を越すA點上中層は特に高鹹にして二六、三〇内外なり。

三月 上中層十八度より十七度にして前と略同温なるもA點下層に一部十八度現れ前月の十五度に變り十六度線はC、D、點下層に蟻居せり比重 A點上中層に二五、九〇を見る外は二六、〇〇より一六、三〇にして中央部下層に高し。

五月

水温二十度線はC點上層よりD點中層に十六度の低水温はA點下層に在り此の間は十七度より十九度にして上層に高し前年に比し幾分低温なり。

比重二六、〇〇内外にして前年に比し高し。

八月

水温上層二十七度中層二十四度より二十六度にして二十一度はA點中層よりD點下層に達しA點よりB點の下層に二十度線あり前年に比し中下層に一度内外の高温なり。

比重二五、六〇線中層を南北に亘き上部に低く下部に高し。

十月

水温十月は日本海一齊調査に參加し二百米層迄觀測せり二十六度線はA點二十五米層よりB、C點五十米層を経てD點三千米層に二十五度及二十三度線は之を並行し中層部附近にありA點百五十米層に十六度C點全層に十七度の低水温を見る。

十一月

水温南部上層に高く二十三度線はB點上層よりC點二十五米層を経てD點五十米に達し二十二度線A點南方表層よりB、C、D點中層部を通じA點D點下層に二十度線を見A點百五十米層に十六度余の最下水温見る。

比重A點B點下層に二五、六〇にしてB、C點中層よりC、D點の下層に二五、三〇の低比重存在す。

屋久島大島間

二月

水温地方に低く南に高温にして下層上層よりG點下層に十八度線G點上層よりI點下層に二十度線K點上層よりL點下層を連ねたる以南之N點百米層よりM點下層を連ねたる以淺は二十一度水温を以て占めらる前年に比し南部は約一度高きも中央部以北は一度より三度の低水温なり」

比重F、G、H點とL點表層よりM點二十五米層N點五十米層を連ね多る以淺は二五、九〇にしてD點百米層とL點百五十米層に二六、二〇の高比重あり其の他は二六、〇〇より二六、一〇にして前年より幾分高比重なり。

三月

水温 中央部に高く二十二度線はJ點上層よりK點上層を連ねL點五十米層を経て全點南側に出て之と同曲線を以て二十一度線I・M間の中層部を走り南部稍低くO點下層に十九度線あり北部下層最も低く十七度線F・G・H點の底層を匍匐し前月に比し南部と北部下層は低下せるも他は約一度の上昇を示せり。

比重 北部中下層とH・I・J點上中層二五・九〇内外にして低くE點二十五米層とM・N點中下層に二六・三〇の高比重あり前月に比し稍々高し

五 月

水温 中央部以南に高く大部分二十四度を以て占められ北部もE・F・G點二十五米以淺に二十四度を見るも下層は二十度より二十一度、二十三度線はE點上層よりF・G・H・I點中層を経てJ點下部に達せるものとL・M・N・O點の下層に見前年に比し中央以北は上層約一度下層二度の低下なるも以南は約一度の上昇なり。

比重 二六・〇〇線は中央部J・K附近にて下層に潜入せる外は何れも二十五米層より五十米層附近を南北に通じ上部に低く下部に高し北部下點百米層附近には二六・三〇の高鹹あり前年に比し約四〇の高比重なり。

八 月

水温 上層に高く二十八度線はI點上層よりJ點二十五米層を経てL點にて百米層に達し之よりN點南側表層に走り二十六度以下の水温は南部下層並中央部下層にあり其の他は何れも二十七度内外にして前年に比し表層稍々低下せる外は略同水温なり。

比重 二六・〇〇南部附近に散見するのみにて大体二五・五〇〇より二五・八〇の間なり前年と大差なし。

十 月

水温 日本海一齊調査にて二百米迄觀測せり二十六度北部D點にて垂直に五十米層に達する一部と下點南側上層よりG點五十米層に入り以南K點迄全層附近を連ねO點にて百五十米層に突入せる所あり中央以北の中層附近に二十五度線及二十四度線羅列し南部にて下層に入り北部D點二百米層に十七度以下の最低水温を見る。

十一 月

水温 二十四度線は下點表面よりG點百米層に入りH點にて表層に出てI點を経てK點五十米層に入り再びL點の表面に出て更にN點百米層に達しO點二十五米層と連なり起伏甚だしく百五十米線は二十二度内外なり前月に比し約二度低下せるを見る。

比重 南に高く二五・八〇は中央部下層とM點以南にあり他は二五・六〇内外なり。

二月施行

月日	時分	場所	氣溫C 氣壓m,m	水溫及比重						透明度 (米)	潮流向	風向力	雲量	天候
				表面	25m	50m	100m	150m	200m					
2月15日	后5,17	A	10,2 762	16,8 26,49	16,9 26,39	16,8 26,24	16,4 25,35	14,7 25,98		15		NNW 2	10	C
"	后6,50	B	11,0 761	17,2 26,05	17,4 26,02	17,2 26,24	16,2 26,14	15,3 26,08				N 2	10	C
"	后8,25	C	11,6 761	17,8 26,10	18,0 26,22	18,0 25,94	17,0 26,15	15,2 25,95				NE 1	10	C
"	后10,08	D	12,0 761	19,0 25,94	19,0 26,02	18,7 25,95	18,4 25,95	17,3 26,15				NNE 2	10	C
2月16日	前0,26	E	13,3 761	17,5 26,04	18,5 26,02	18,4 26,15	17,9 26,38	17,8 25,95				NNE 2	10	C
"	前2,00	F	13,0 761	18,3 25,88	18,3 26,05	17,7 26,05	17,5 26,15	17,5 25,95				SE 2	10	C
"	前3,30	G	13,0 761	17,5 25,95	17,8 25,95	17,8 29,95	17,6 26,05	17,0 25,94				SE 2	10	R
"	前5,15	H	13,2 762	20,0 25,94	19,7 26,02	19,2 25,94	18,2 25,84	18,0 25,94				SSE 2	10	R
"	前6,50	I	13,5 762	20,3 25,94	20,3 25,91	20,3 26,01	19,5 26,02	18,5 26,12				SSE 2	10	R
"	前8,30	J	16,5 762	20,7 26,05	20,7 26,02	20,7 26,02	20,4 26,04	19,8 26,14		20		SE 2	10	R
"	前10,05	K	16,0 763	20,5 26,15	20,7 26,15	20,5 26,12	20,5 25,99	20,5 26,18		23		SE 2	10	R
"	前11,45	L	17,7 762	21,0 26,01	21,0 26,13	21,0 26,03	20,7 26,01	20,5 26,08		22	ENE	SSE 3	10	R
"	后1,25	M	18,1 761	21,5 26,01	21,5 25,93	21,5 26,02	21,5 25,99	21,2 26,28		24		SSE 4	10	R
"	后3,00	N	18,1 760	21,2 25,91	21,2 26,01	21,2 26,01	21,2 26,09	21,0 26,18		22		SSE 4	10	R
"	后4,35	O	18,7 759	21,3 25,99	21,3 25,99	21,3 26,01	21,0 25,98	20,5 26,08		20	ENE	SE 5	10	R

三月施行

3月26日	后2,35	A	15,0 759	17,6 26,02	17,6 25,95	17,6 25,92	17,2 25,92	18,7 26,22		18		E 1	10	C
"	后4,20	B	16,0 759	18,0 26,15	18,0 26,29	17,6 26,22	16,5 26,19	16,5 26,47		19		E 2	10	C
"	后6,00	C	16,0 757	18,6 26,07	18,6 26,12	18,6 26,14	16,5 26,22	15,2 26,07				E 2	10	C
"	后7,45	D	16,6 757	18,5 26,15	18,5 26,09	17,4 26,02	16,4 26,14	15,6 26,12				E 2	10	R
3月27日	前0,15	E	16,0 757	18,4 26,17	18,2 26,32	17,5 25,94	17,5 25,79	17,5 25,95				E 2	10	C
"	前2,05	F	17,6 756	19,5 26,05	19,5 26,27	19,3 26,09	17,2 25,92	16,5 25,97				E 2	10	C
"	前3,50	G	17,0 755	19,5 26,01	19,5 26,09	18,5 25,92	17,5 25,92	16,5 25,89				E 2	10	C

月 日	時 分	場 所	氣 溫 C 氣 壓 mm	水 溫 及 比 重						透 明 度 (米)	潮 流 向	風 向 力	雲 量	天 候
				表 面	25	50m	100m	150m	200m					
3月27日	前5,40	H	17,6 755	18,4 25,97	18,1 25,99	18,1 26,09	17,7 26,07	16,5 25,92			E 2	10	R	
"	前7,25	I	17,0 755	21,4 25,97	21,1 25,99	21,1 25,97	19,5 26,05	18,5 26,00		20	SSE 2	10	R	
"	前9,10	J	19,4 755	22,5 26,05	21,4 26,15	21,1 26,02	20,0 26,12	18,6 25,81		19	SSE 2	10	R	
"	前11,00	K	18,0 755	22,0 26,12	21,9 26,33	21,2 26,22	20,5 26,22	20,4 26,21		17	N 4		O	
"	后0,50	L	16,5 755	22,2 26,19	22,2 26,19	22,0 25,16	21,3 26,20	20,5 26,35		17	NNW 5		O	
"	后2,30	M	16,5 756	20,7 26,27	20,7 26,41	20,5 26,30	20,0 26,22	19,7 26,32		17	NW 5		O	
"	后3,45	N	16,5 756	20,5 26,29	20,5 26,20	20,4 26,33	20,1 26,30	18,4 26,31		13	NW 5		O	
"	后4,55	O	16,5 757	19,8 26,28	19,5 26,17	19,5 26,30	19,2 26,20	19,0 26,32			NW 5		O	

五 月 施 行

5月 4日	后3,12	A	17,3 763	20,1 26,01	19,3 26,09	18,9 26,14	17,0 26,01	15,3 26,03		19		W 2		B
	后4,50	B	18,3 763	20,5 25,99	19,5 26,03	19,6 26,08	17,7 26,06	11,7 25,68		25		W 1	1	B
	后6,30	C	18,5 763	21,6 25,88	20,5 25,98	19,0 26,14	17,3 25,88	16,5 25,98				W 1	1	B
	后8,10	D	19,0 763	21,7 25,86	21,5 25,98	21,5 25,96	20,5 26,18	15,5 25,91				E 2		B
	后11,05	E	20,0 764	24,5 25,91	23,2 25,98	22,5 26,21	21,1 25,93	17,7 26,11				SE		B
	5月 5日	F	19,5 763	24,6 25,98	24,4 25,98	23,3 26,21	22,0 26,42	20,0 26,21				SE	1	B
	前3,20	G	19,4 763	24,0 26,08	23,9 25,91	23,4 25,96	22,0 26,34	21,3 26,13				NW		B
	前5,00	H	19,5 763	24,0 25,98	23,8 25,91	23,5 26,13	22,4 26,16	21,7 26,16				NW	2	0
	前6,35	I	20,0 762,5	23,8 25,98	23,5 25,88	23,4 25,91	23,0 26,21	21,4 26,23		23		W 1	10	0
	前8,20	J	19,9 762,5	24,2 26,13	24,2 25,88	24,0 25,98	23,7 25,73	22,8 26,11		25		NW	1	0
"	前10,00	K	20,0 762,5	24,5 26,14	24,3 26,09	24,4 26,01	24,4 26,19	24,2 26,32		25		NW	1	0
"	后0,20	L	20,2 762,5	24,4 25,91	24,2 25,98	24,4 26,22	24,1 26,22	22,6 26,37		25		NW	1	0
"	后1,55	M	20,7 762	24,3 26,03	24,4 26,03	24,4 26,03	24,3 25,91	21,7 26,06		27		NW	2	0
"	后3,35	N	20,5 762	24,3 25,73	24,3 25,98	24,3 25,98	23,6 26,17	22,0 26,19		27		W 2	10	R
"	后6,00	O	19,3 762,5	24,0 26,10	24,1 25,83	23,5 26,17	23,5 26,08	21,3 26,08		26		W 2	10	0

月日	時分	場所	氣溫C 氣壓mm	水 溫 及 比 重						透明度 (米)	潮流向	風向力	雲量	天候
				表面	25m	50m	100m	150m	200m					
5月 5日	后8,00	28—36N 129—18E	19,5 762	23,6 25,78	23,7 25,98	23,5 26,17	22,6 25,88	21,0 26,11				WSW 1	10	C
5月 6日	前0,00	28—54N 128—54E	18,7 762	24,0 25,88	24,0 26,08	23,2 25,88	22,5 26,08	20,6 26,11				N 1	10	C
"	前3,30	28—48N 128—28E	18,4 762	23,5 25,76	23,5 25,81	23,6 25,83	22,5 26,34	21,0 26,18				N 2	8	C
"	前7,00	28—45N 128—06E	18,5 762	23,0 25,76	23,0 25,83	22,5 26,34	21,5 26,18	20,4 26,18		24		N 2	2	B
"	前 10,30	23—45 N 128—51 E	18,4 762	23,6 25,76	23,3 25,83	22,5 26,34	21,6 26,18	20,0 26,18		21		N 2	2	B
"	后2,10	28—42N 127—22E	20,4 762	23,7 25,87	22,8 25,94	22,4 26,07	21,8 25,91	20,4 25,77		25		N 2	4	B

八月施行

8月 7日	后1,35	A	24,7 755,5	27,5 25,34	26,5 25,39	24,5 25,59	21,6 25,64	19,5 25,67		23		WNW 2	1	B
	前 11,45	B	27,2 755,5	27,2 25,48	27,0 25,47	25,2 25,39	21,4 25,79	19,5 25,64		34	E	NWN 2	1	B
	前9,40	C	20,0 755,5	27,5 25,51	27,6 25,47	27,0 25,93	23,5 25,78	21,6 25,84		30	E	WN 2	4	B
	前7,55	D	26,5 756	27,6 25,53	27,1 25,46	25,6 25,59	23,6 25,86	22,0 25,73		31		NW 2	4	B
	前1,00	E	25,2 757	27,8 25,73	27,0 25,62	26,6 25,59	26,6 25,59	26,5 25,59				W 2	5	B
	后 11,20	F	26,8 757	27,4 25,69	27,0 25,59	27,0 25,72	26,6 25,73	26,2 25,86				W 2	5	B
	后9,40	G	27,0 757	27,8 25,76	27,6 25,63	27,2 25,69	26,4 25,83	26,2 25,76				W 2	3	B
	后8,00	H	28,7 757,5	27,8 25,70	27,1 25,70	27,0 25,73	26,6 25,77	26,0 25,77				W 2	4	B
	后6,20	I	29,2 757,5	28,0 25,73	27,0 25,70	27,4 25,60	27,3 25,60	26,1 25,87		26	E	WSW 3	6	B
	后4,40	J	28,4 758,5	28,5 25,70	28,0 25,73	27,7 25,54	26,5 25,84	25,0 25,87		29	E	WSW 3	5	B
	后3,00	K	28,5 758,5	28,5 25,70	28,2 25,60	28,0 25,94	27,2 25,73	26,0 25,93		29	E	WSW 3	8	C
	后1,20	L	28,0 758,5	28,5 25,77	28,2 25,77	28,0 25,67	28,0 25,77	27,5 25,40		31	E	W 3	5	B
	前 11,40	M	28,0 759	28,5 25,73	28,0 25,77	28,0 25,77	27,3 25,57	25,2 25,77		31	S	W 3	5	B
	前 11,00	N	28,0 759	28,4 25,74	28,5 25,78	28,2 25,89	26,0 26,00	25,0 26,05		28		W 3	5	B
	前8,10	O	28,0 759	27,5 25,87	27,5 25,94	27,5 26,07	27,2 25,91	26,5 25,77		28		WSW 3	5	B

十月施行

月 日	時 分	場 所	氣 溫 C 氣 壓 mm	水 溫 及 比 重							透 明 度 (米)	潮 流 向	風 向 力	雲 量	天 气
				表面	10m	25m	50m	100m	150m	200m					
10月5日	前1,05	A	23,5 764	26,0	26,0	26,0	26,0	24,5	22,3	16,0		E, N 1	10	C	
"	前3,00	B	23,5 764	25,8	26,0	26,0	26,0	24,3	23,5	21,8		E 1	10	C	
"	前4,52	C	23,5 764	26,0	26,0	26,0	26,0	24,2	23,5	17,0		S E 1	10	C	
"	前6,50	D	23,3 764	26,1	26,2	26,2	25,8	24,9	20,2	-	21	E 1	6	B	
"	前8,48	D	26,4 764	26,1	26,1	26,1	26,1	25,5	19,0	15,9	23	S E 1	7	B	
"	前10,50	E	24,3 764	25,8	25,8	25,8	25,9	22,8	18,5	17,5	17	S E 2	4	B	
"	后1,05	F	24,0 764	25,8	25,7	25,7	26,2	25,8	24,6	21,3	17	S E 3	3	B	
"	后3,05	G	24,0 763	26,5	26,5	26,3	26,0	24,2	22,8	18,0	18	S E 3	7	C	
"	后5,00	H	23,7 763	26,4	26,1	26,1	25,6	21,8	20,7	20,1	21	S E 3	6	C	
"	后6,56	I	23,0 763	26,3	26,8	26,8	26,8	24,7	24,2	22,1		S E 2	9	C	
"	后8,50	J	23,0 763	26,0	26,3	26,3	26,3	24,8	24,3	22,0		S E 2	9	C	
"	后10,45	K	24,0 763	26,3	26,3	26,3	26,1	24,7	22,5	21,5		S E 2	2	B	
10月6日	前0,45	L	24,0 763	26,0	26,1	26,0	25,8	25,5	25,2	24,3		S E 2	1	B	
"	前2,50	M	24,0 763	26,5	27,0	27,0	25,5	25,5	25,5	23,6		S E 2	2	B	
"	前4,50	N	24,0 763	26,2	26,3	26,3	26,3	25,7	25,4	20,8		S E 2	1	B	
"	前7,55	O	24,1 763	26,5	26,5	26,5	26,5	26,4	26,0	25,0		S E 2	2	B	
"	前9,50	28°--36°N 129°--18°E	24,1 763	25,9	26,0	26,0	25,9	24,8	24,8	24,2		S E 2	2	B	
"	后1,00	横當島西 0°	25,0 762	27,0	26,0	26,6	27,0	26,4	23,6	23,8		S E 2	1	B	
"	后3,55	28°--45°N 128°--38°E	25,0 760	26,7	26,8	26,6	26,4	26,3	24,6	23,6		S S E 2	4	B	
"	后7,00	28°--44°N 127°--17°E	25,0 759	27,1	27,0	27,0	27,0	26,6	21,0	24,5		S 2	.1	B	
"	后9,50	28°--43°N 127°--58°E	25,0 759	26,5	26,5	26,6	26,6	26,3	25,6	24,8		S 2	3	B	
10月7日	前0,50	28°--42°N 127°--37°E	25,0 759	26,7	26,7	26,8	25,6	23,1	24,0			S 2	4	B	
"	前3,50	28°--39°N 127°--17°E	24,0 759	26,7	26,7	26,6	26,6	24,6	23,1	21,1		S S W 2	8	B	
"	前7,00	28°--39 126°--56	24,6 759	26,8	26,0	26,7	26,5	22,5	23,6	22,5	26	S S W 2	1	B	
"	前10,00	28°--58 127°--13	27,0 760	26,5	26,4	26,5	26,5	25,5	16,2	21,6	19	S S W 2	8	C	
"	后1,10	29°--07 127°--31	27,0 760	26,5	26,5	26,7	26,5	25,5	18,4	21,3	22	S S W 2	4	B	

月日	時分	場所	氣溫C 氣壓mm	水溫及比重							透明度 (米)	流潮向	風向力	雲量	天候
				表面	10m	25m	50m	100m	150m	200m					
10月7日	后4,10	29-19 127-46	27,0 760	26,8	26,7	26,4	26,0	24,2	22,6	20		S W 2	3	B	
"	后7,15	29-32 128-21	27,0 760	26,5	26,5	25,1	23,0	20,4				S W 2	3	B	
"	后 10,30	29-44 N 128-18	27,0 760	26,4	26,0	26,2	26,4	23,5	22,5	22,0		W 1	2	B	
10月8日	前1,50	29-58 128-35	23,2 760	26,0	26,0	25,8	25,8	21,8	21,0	20,8		N W 2	10	O	
"	前5,10	30-12 N 128-54	23,2 760	26,1	26,3	26,3	26,3	20,6	22,1	22,0		W N W 2	10	C	
"	前8,50	30-25 129-09	24,2 760	26,4	26,4	25,6	26,5	23,4	17,4	15,7	22	N W 2	9	O	
"	前0,10	302-36 N 129-24	24,2 760	26,0	25,7	25,4	23,5	22,6	19,0	26		N W 2	2	B	

十一月施行

11月9日	后2,30	A	20,0 765	21,8 25,38	21,8 25,41	21,5 25,58	21,0 25,55	16,4 25,71		22	E 緩	N N E 2	1	B
"	后5,00	B	21,9 765	23,0 25,41	23,0 25,51	22,5 25,41	21,1 25,58	20,2 15,63		20		E 1		B
"	后6,40	C	18,0 765	23,2 25,51	23,0 25,23	22,8 25,31	20,6 25,58	21,0 25,23				E 0		B
"	后8,10	D	18,0 765	24,0 25,63	23,5 25,51	23,5 25,41	21,6 25,46	18,8 25,39				E 2		B
"	后9,35	D	19,0 765	24,6 25,51	24,0 25,55	23,5 25,51	23,8 25,56	22,1 25,63				E S E 3		B
"	后 11,10	E	19,0 765	24,0 25,51	23,5 25,62	23,1 25,71	23,5 25,68	20,3 25,73				E S E 3		B
11月10日	前0,50	F	19,5 765	23,9 25,53	23,7 25,55	23,7 25,63	23,7 25,61	21,5 25,74				E S E 3		B
"	前2,30	G	19,0 765	24,6 25,63	24,6 25,65	24,2 25,73	24,0 25,66	22,5 25,74				E S E		B
"	前4,05	H	19,0 764	24,0 25,53	23,5 25,51	23,0 25,71	23,0 25,88	21,5 25,85				E 3		B
"	前5,45	I	19,0 764	24,0 25,51	23,5 25,61	23,0 25,71	22,3 25,78	21,5 25,85				E N E 3		B
"	前7,20	J	20,0 764	24,3 25,63	24,0 25,55	23,6 25,66	23,5 25,58	21,6 25,60		27		N 3	2	B
"	前9,00	K	19,5 764	24,0 25,73	24,1 25,65	24,0 25,65	23,5 25,58	21,7 25,60		27		N 3	7	B
"	前 10,35	L	20,0 764	24,0 25,94	23,6 25,58	23,6 25,58	23,5 25,70	21,7 25,80		30		N 4	7	B
"	后0,15	M	21,0 763,5	24,3 25,70	24,3 25,78	24,0 25,70	23,7 25,80	22,0 25,90		30		N 4	7	B
"	后1,50	N	21,0 763	24,5 26,00	24,4 25,82	24,4 25,92	24,0 25,92	23,5 25,92		28		N 6	9	C
"	后3,10	O	21,0 762	24,2 25,80	24,0 25,92	23,7 26,14	23,5 26,02	22,4 26,00		26		N 5	10	C

二、沿岸横断観測

鰯の他冬期來游魚族と海況との關係を調査せんとし昨年に引續き左記観測線を設け一月より四月迄各月一回宛施行せり。

一、佐多岬—種子島北端 五浬間隔四點

一、種子島北端—都井岬 五浬間隔六點

一、都井岬—火崎 三浬間隔四點

一、黒島—野間岬 十浬乃至十五浬間隔五點

一、野間岬—甑島手打 五浬間隔四點

観測層は表面、二十五米、五十米、百米、百五十米の五層なるも海深百五十米以内の地に於ては底層迄の観測を施行せり観測記録次の如し。

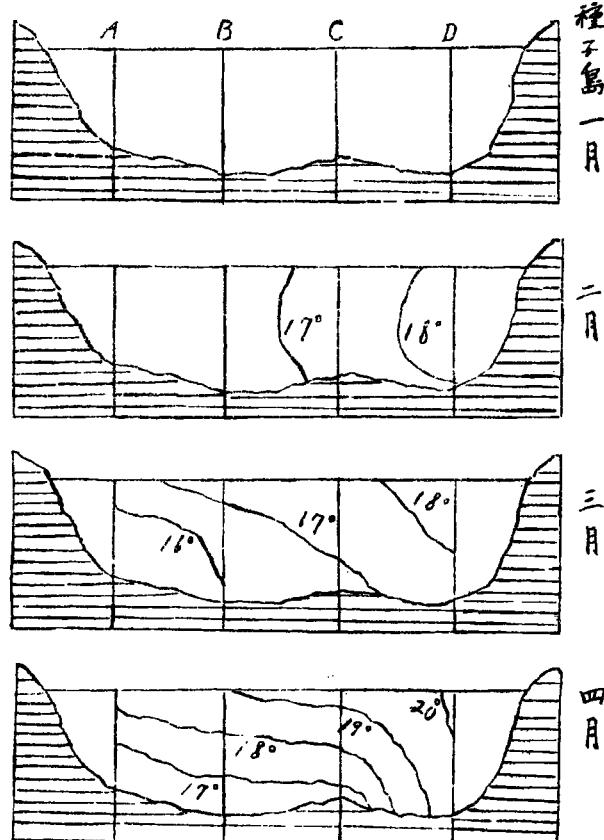
佐多岬—種子島間

一月 全面十八度を以て掩はれ前年に比し佐多岬側略同温なるも種子島側約一度の低下なり。

二月 種子島側に高く十八度はD點七度はC點十六度はA B點にあり各測點とも上下層略同温なり前月より下降し前年に比し種子島側は同温なるもO點以西は一度より一度の低水温なり。

三月 最高十八度五分最低十五度五分にして種子島側に高く佐多岬側下層に低く中央は十七度乃至十六度なり前月より低下し前年に比し一度より二度の高溫なり。

四月 種子島側上層に高く佐多岬側下層に低し最高二十度一分最低十五度八分にして前月より一度内外前年に比し下層約二度中上層一度の高水温なり。

種子島一種子島
佐多岬

種子島都井岬間

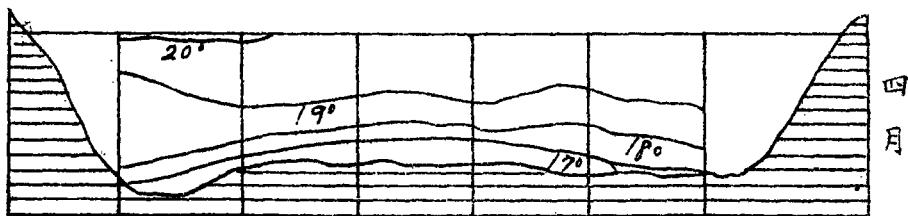
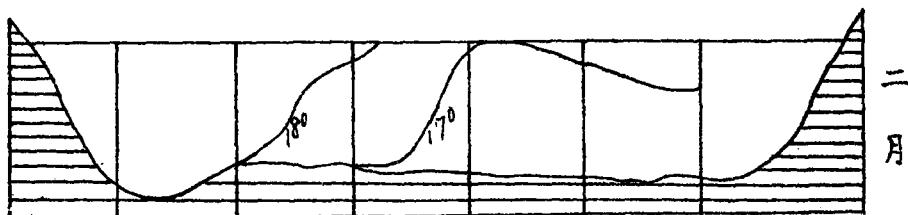
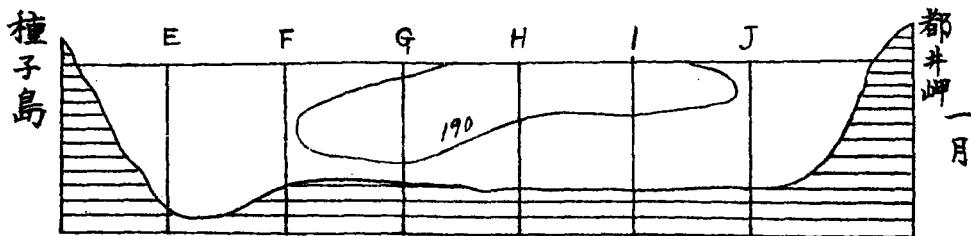
一月 中央部附近中下層より都井岬側の中上層十九度水温なる外はこれも十八度にして前一年より稍々低し。

二月 種子島側十八度中央部と都井岬側上層十七度他は十六度にして前月より都井岬側二度内外前年より約一度の低下を示せり。

三月 種子島側中上層十八度にして高く十六度の低水温は中央部附近表層より兩側の下層に擴り都井岬側中上層は十七度G點百米層の十五度九分を最下水温とす前年は都井岬側に高溫種子島側下層に低温なりしを以て本年と其の配列相反せり。

四月 最高二十度三分にて種子島側表層に最低十六度一分にして都井岬底部にあり等温線は垂直より水平に復し十九度線中層部附近を兩側に貫けるも底層にはまだ十六度水温見られ前月に比し一度より二度前年に比し一度内外の上昇なり。

種子島 ————— 都井岬



都井岬火崎間

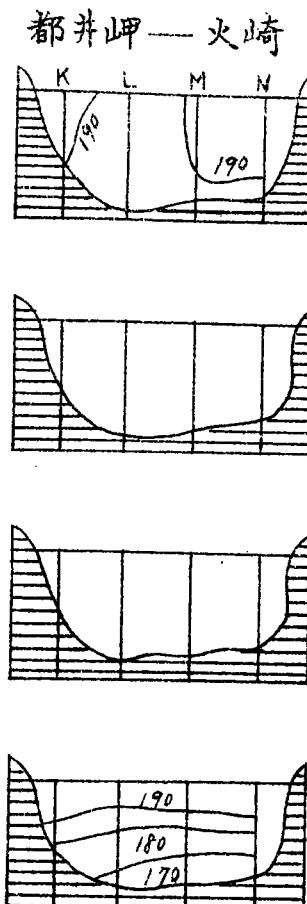
一月 都井岬寄りの中央部十八度他は十九度水温なり。

二月 前月に比し一度以上の低下にして全面十六度水温を以て占めらる。

三月 前月と大差なく何れも十六度にして前年に比し一度乃至二度の低水温なり。

四月 前月より上昇し上層十九度にて三度中層十八度及十七度にて一度より一度高く下層に十六度の低水温を見る前年に比し高溫なり。

火崎 一月 二月 三月 四月



黒島野間岬間

一月 兩側及底部に低く十八度中央部百米以淺は何れも十九度にして前年に比し中上層略同溫なるも下層約一度高溫なり。

二月 野間岬側のT點を除き各測點五十米層以淺と中央部下層の一部十七度T點百米層に十五度五分の最下水温を見る外は十六度を以て占められ前月より一度内外前年より一度内外の下降なり。

三月 最高十八度二分最低十五度六分にして黒島側上層に高く野間岬側下層に低し前年より稍々上昇せり。

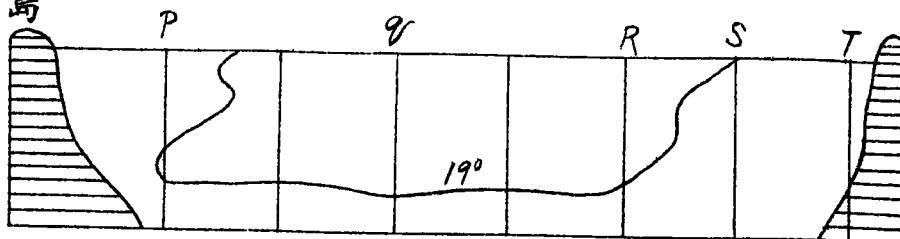
四月 中層以淺は十九度水温となりたるも底層は寒冷となり黒島側の下層に十三度八分の低水温現れ其の他の下層は何れも十五度の水帶なり前年と大差なきも高溫部増大せり。

野間岬観島間

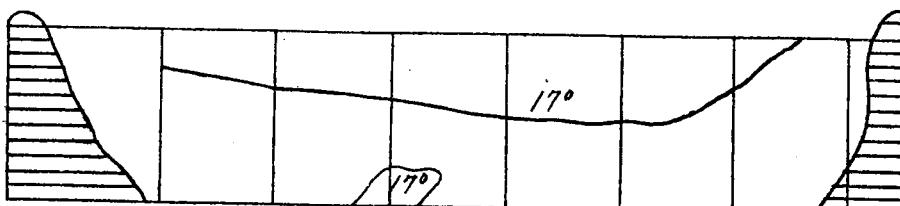
黒島 ————— 野間岬

野間岬

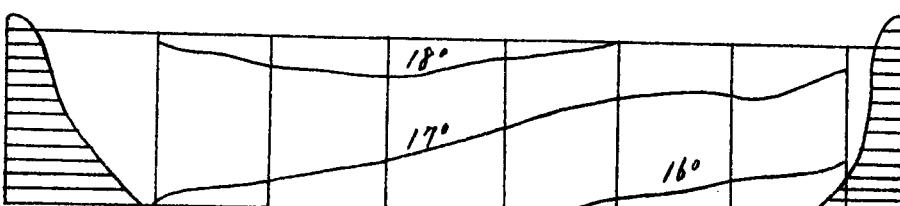
一月



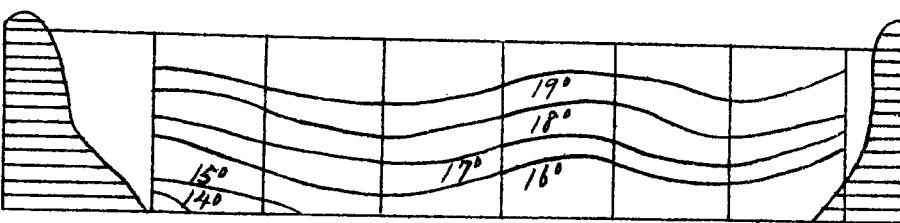
二月



三月



四月

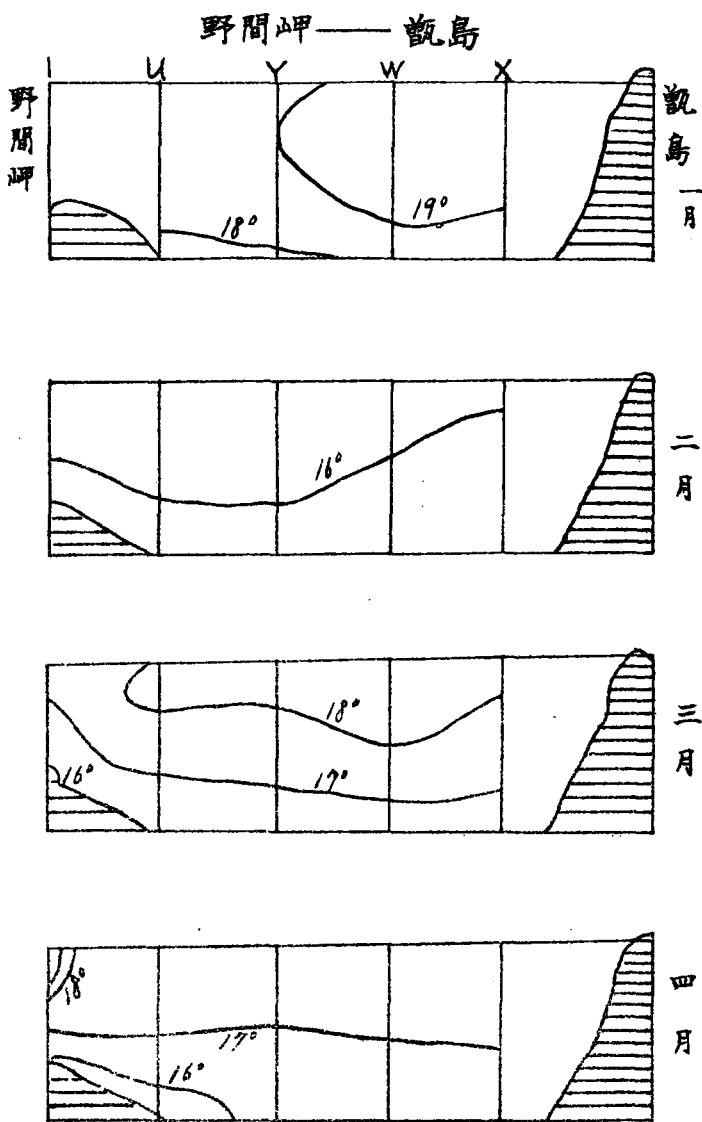


一月 中央部以西の竜島側に高く十九度他は十八度にして中央部下層に一部十七度水温を見る前年に比し約一度高溫なり。

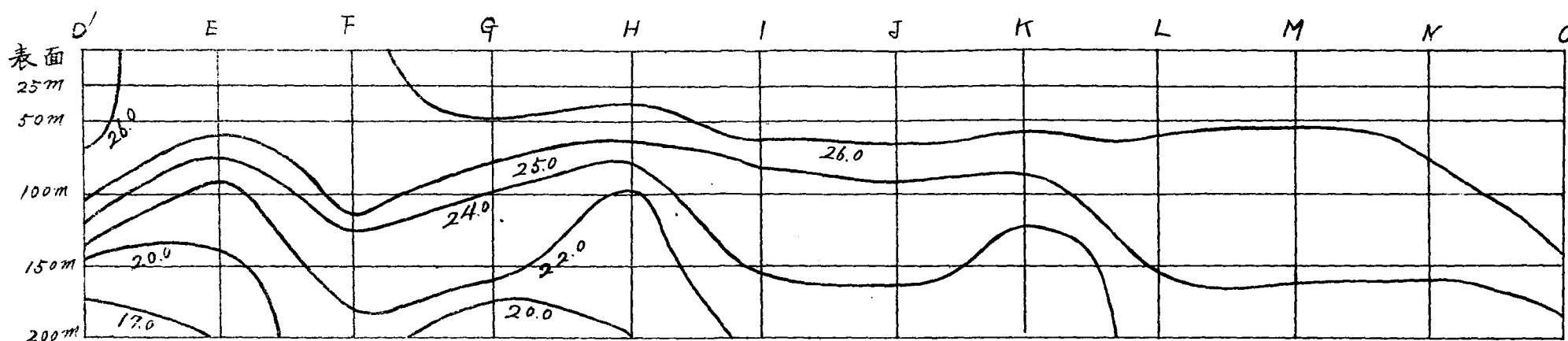
二月 中層以淺十六度以深十五度にして前月より一度乃至三度前年に比し一度より一度の低水温なり。

三月 十八度上層に十七度中層に十六度下層にあり前月に比し約二度の上昇を示し前年より一度乃至三度の高水温なり。

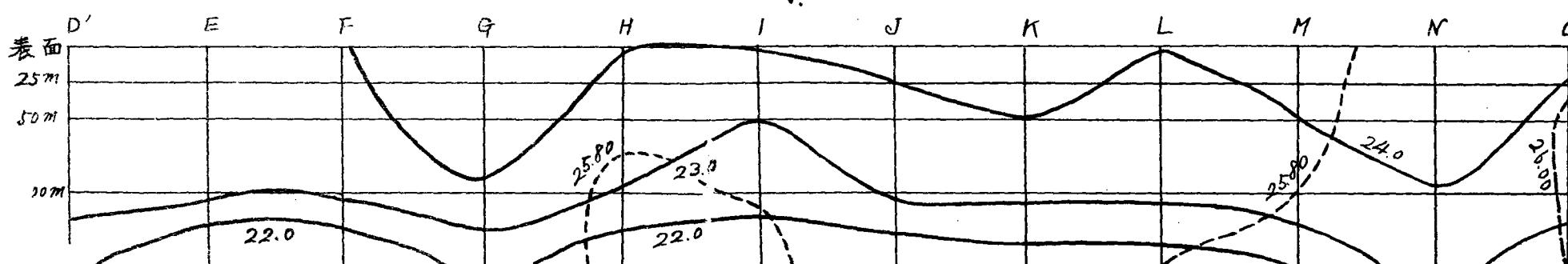
四月 前月より全般的に下降し十七度線中層部を兩側に通じ十八度及十九度線は野間岬中上層に十五度三分の低水温全點底層にあり前年に比し稍低下せるを見る。



十月施行

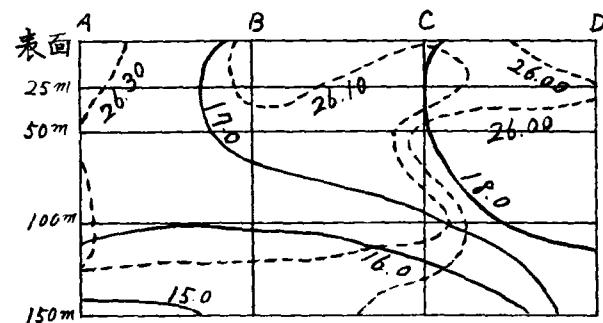


十一月施行

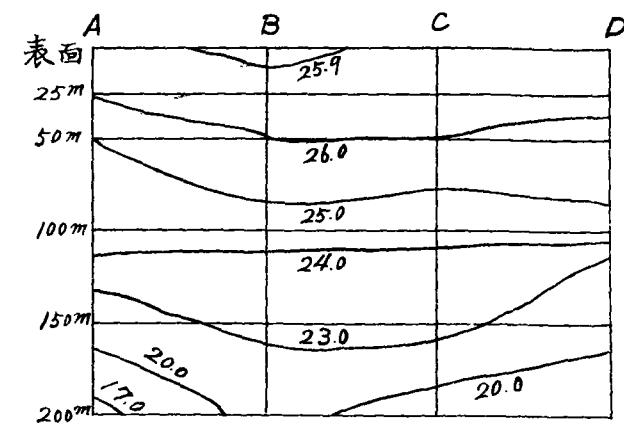


間島久屋聞開

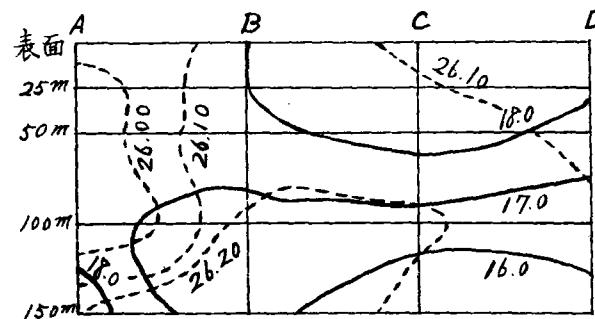
二月施行



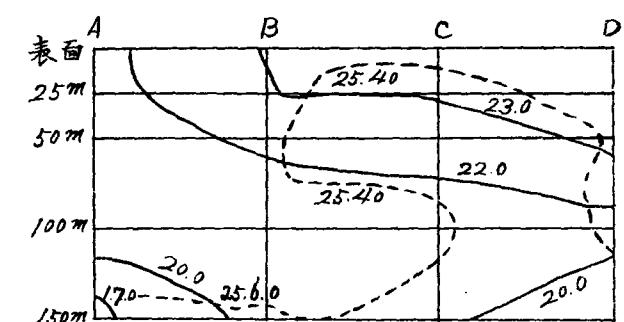
十月施行



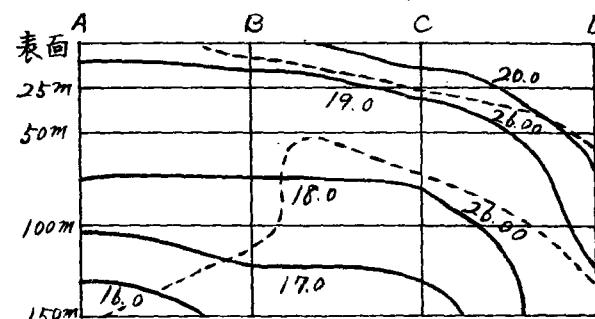
三月施行



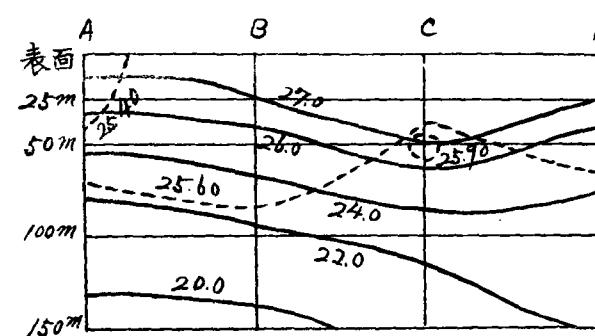
十一月施行



五月施行



八月施行



内之浦方面に於ける鮒漁獲高 (單位尾數)

月	漁場	海藏	演田	二本松	津代	桃之木	涼松	深井	計	%	
七年十二月											
八年一月											
全年二月											
五月	計	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0
四月		六、八三	四、六七	二、六四	一、六三	五、九三	四、八三	三、一三	一、九	—	
三月		六、八三	四、六七	二、六四	一、六三	五、九三	四、八三	三、一三	一、九	—	
二月		六、八三	四、六七	二、六四	一、六三	五、九三	四、八三	三、一三	一、九	—	
一月		六、八三	四、六七	二、六四	一、六三	五、九三	四、八三	三、一三	一、九	—	
月		六、八三	四、六七	二、六四	一、六三	五、九三	四、八三	三、一三	一、九	—	

都井岬火崎間(有明灣口)の平均水温と透明度

月	別 観 測 層	表 面	二十五米	五十米	底 層	四層 層 均	透 明 度
四月	一月	一九、一	一九、六	一九、六	一九、六	一九、六	一九、六
三月	二月	一九、一	一九、六	一九、六	一九、六	一九、六	一九、六
二月	一月	一九、一	一九、六	一九、六	一九、六	一九、六	一九、六
一月	十二月	一九、一	一九、六	一九、六	一九、六	一九、六	一九、六

定點に於ける水温と透明度(内之浦灣漁場附近)

七二一

月別観測層	表面	二十五米	五十米	底層	四層平均	透明度
一月	一七、七	一六、五	一六、六	一九、一	一六、七	一六、五
二月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
三月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
四月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
五月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
六月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
七月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
八月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
九月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
十月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
十一月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
十二月	一九、七	一六、五	一六、五	一九、一	一六、七	一六、五
計						

片浦灣の鮒漁獲高尾數と平均水温

月	前網	漁獲	高計	%	T點	U點	溫平均	T點	透點	明度
一月	一	一	一	四三	八五	八五	八五	ナ	ナ	シ
二月	一	一	一	二五	八四	八四	八四	ナ	ナ	シ
三月	一	一	一	三〇	七九	七九	七九	ナ	ナ	シ
四月	一	一	一	三〇	七四	七四	七四	ナ	ナ	シ
五月	一	一	一	三〇	七一	七一	七一	ナ	ナ	シ
六月	一	一	一	三〇	六二	六二	六二	ナ	ナ	シ
七月	一	一	一	三〇	六一	六一	六一	ナ	ナ	シ
八月	一	一	一	三〇	五六	五六	五六	ナ	ナ	シ
九月	一	一	一	三〇	五〇	五〇	五〇	ナ	ナ	シ
十月	一	一	一	三〇	四九	四九	四九	ナ	ナ	シ
十一月	一	一	一	三〇	四七	四七	四七	ナ	ナ	シ
十二月	一	一	一	三〇	四五	四五	四五	ナ	ナ	シ
計					九五七	九五七	九五七	ナ	ナ	シ

一月施行

月日	時分	場所	氣溫 氣壓	水溫及比重					透明度	潮流向	風向力	雲量	天候
				表面	25m	50m	100m	150m					
1, 9	后 7,50	X	13,0 768	19,4 26,09	19,5 26,22	19,2 25,99	19,0 25,89	18,3 26,00			N E 2	10	C
"	后 8,50	W	13,0 26,01	19,3 26,10	19,4 26,10	19,4 26,08	18,4 25,90	18,1 25,90			N E 2	10	C
"	后 9,50	V	12,6 26,21	18,7 26,37	19,0 26,10	19,0 26,10	18,9 26,10	17,8 26,03			N E 2	10	C
"	后 10,35	U	18,7 26,03	18,5 26,00	18,5 26,01	18,5 25,90	17,5 25,95			N E 2	10	C	
"	后 11,50	T	18,7 26,02	18,5 26,12	18,5 26,13	18,2 26,36				E N E 2	10	C	
1, 10	前 0,50	S	19,0 25,85	18,8 26,04	18,7 26,12	17,7 26,03	18,4 25,97			E 3	10	C	
"	前 1,55	R	19,2 25,95	19,2 26,05	19,5 26,04	19,2 26,03	18,5 26,07			E 3	10	C	
"	前 3,50	Q	13,0 767	19,2 26,15	19,3 25,94	19,2 26,04	19,2 26,04	18,8 26,07			E 3	10	C
"	前 5,55	P	13,5 767	18,8 25,96	18,8 25,94	18,8 25,83	19,1 25,93	18,4 26,08			E 3	10	C
1, 12	前 6,25	A	11,0 764	18,6 25,77	18,6 25,86	18,6 25,96	18,6 25,97			S 急	W 2	9	C
"	前 7,40	B	18,9 764	18,8 25,97	18,8 26,15	18,8 25,92			16		N W 3		
"	前 8,35	C	18,7 765,5	18,7 26,01	18,7 25,77	18,7 25,79	18,7 25,15	18,7 25,09	17		W N W 3	10	C
"	前 10,00	D	18,6 25,79	18,7 25,97	18,8 25,95	18,8 26,05			19		N W 3	10	C
"	前 10,50	E	12,0 766	18,8 25,90	18,9 25,90	18,9 25,98	18,9 25,98	18,6 26,01	16		N W 3	8	C
"	前 11,50	F	18,9 766	18,9 25,83	18,9 25,91	19,0 26,00	18,9 26,08				N W 3	3	C
"	后 12,50	G	18,9 25,93	19,1 25,91	19,1 26,00	19,0 26,11			19		N W 3	5	B
"	后 1,40	H	10,2 766	19,0 25,83	19,0 25,90	19,0 25,97	18,0 26,11		18		N W 3	0	B
"	后 2,30	I	10,2 766	19,0 26,03	19,1 26,00	19,0 25,97	18,0 26,11				N W 3	5	B
"	后 3,40	J	11,0 767	18,9 25,94	19,0 25,94	18,9 25,94	18,8 25,80					3	
"	后 4,55	K	19,2 25,74	19,2 25,85	19,2 25,83	18,6 25,85							
"	后 5,35	L	18,9 25,90	18,7 25,92	18,7 26,03	18,5 26,04							

月 日	時 分	場所	氣 溫 暥	水 溫 及 比 重					透明度	潮流向	風向力	雲量	天氣
				表面	25m	50m	100m	150m					
1,12	后 6,15	M		19,0 26,12	19,0 25,92	19,0 26,02	18,5 26,02						
"	后 6,55	N		19,2 26,04	19,0 26,03	19,0 26,02	18,7 25,89						

二 月 施 行

2,11	前 7,33	X	9,7 761	16,0 25,52	16,0 25,73	15,9 25,79	15,7 25,69	15,1 25,77	20		NW 4	10	C
"	前 8,50	W	10,5 761	16,2 25,69	16,1 25,59	16,0 25,79	15,7 25,76	15,3 25,79	23		NW 4	10	C
"	前 9,50	V	10,8 761	16,4 25,62	16,5 25,72	16,3 25,82	16,0 25,82	15,7 25,92	23		NW 4	10	C
"	前 10,45	U	11,7 761	16,8 25,73	16,8 25,73	16,5 25,83	1,60 25,82	15,1 25,89	22		NW 4	10	C
"	前 11,37	T	12,2 761	16,9 25,72	16,5 25,82	16,5 25,92	1,55 25,92	15,0 25,92	23		NW 4	10	C
"	后 0,25	S	12,3 761	17,1 25,83	17,0 25,82	16,8 25,92	1,65 26,00	16,0 26,10	21		NW 4	10	C
"	后 1,20	K	12,6 761	17,3 25,95	17,7 25,85	17,3 25,83	1,68 26,00	16,3 25,90	22		NW 4	10	C
"	后 3,00	Q	12,5 761	17,3 25,95	17,3 26,13	17,0 26,03	17,0 26,00	17,3 26,10	23		NW 4	10	C
"	后 4,40	P	12,4 761	17,2 26,03	17,3 26,03	16,6 26,03	16,4 26,22	16,1 26,22	19		NW 4	10	C
2,13	前 9,28	A	9,4 764	16,2 26,22	16,3 26,03	16,3 26,03	16,0 26,02		28		NW 3	8	C
"	前 10,15	B	10,0 764	16,6 26,17	16,7 26,15	16,8 25,15	16,5 26,25		28		NW 2	7	B
"	前 11,05	C	10,8 763	17,5 26,07	17,5 26,17	17,3 25,14	17,3 26,14		22		NW 2	8	C
"	前 11,55	D	11,8 763	18,2 26,05	18,7 26,04	18,3 26,04	18,4 26,04	17,5 26,04	20		NW 2	7	B
"	后 1,22	E	11,9 762	18,4 26,15	18,4 26,15	18,4 26,15	18,3 26,05		26	E 急	NW 2	4	B
"	后 2,9	F	12,2 762	18,5 26,25	18,5 26,15	18,5 26,27	18,0 26,17		25		NW 2	7	B
"	后 2,53	G	12,3 762	18,1 25,99	17,6 25,97	17,4 26,03	17,2 25,96		25		NW 2	9	C
"	后 3,43	H	12,2 761	17,0 25,87	16,8 25,86	16,8 25,96	16,5 26,16		23		NW 2	9	C
"	后 4,26	I	11,7 761	17,2 26,06	16,8 25,97	16,7 25,93	16,5 26,22		21		NW 2	9	C
"	后 5,15	J	11,9 761	17,1 25,88	17,3 25,96	16,8 25,96	16,8 25,96		20		NW 2	9	O

月 日	時 分	場 所	氣 溫 氣 壓	水 溫 及 比 重					透明度	潮 流 向	風 向 力	鷗 量	天 氣	
				表面	25m	50m	100m	150m						
2,13	后 6,50	K		16,2 25,97	16,7 25,87	16,5 25,87	16,5 25,87							
	后 7,26	L		16,3 25,89	16,7 25,89	16,6 25,76	16,5 25,86							
	后 8,05	M		16,6 25,76	16,6 25,76	16,5 25,69	16,5 25,89							
	后 8,30	N		16,7 25,79	16,7 25,76	16,6 25,67	16,6 25,69							
三 月 施 行														
3,20	前 11,00	X	19,0 759	18,3 25,97	18,0 26,09	17,8 26,21	17,5 26,09	16,3 26,09	14		S W 3		B	
"	前 10,00	W	18,5 769	18,2 25,95	18,1 26,07	17,5 26,09	16,5 26,17	14			S W 3	2	B	
"	前 9,00	V	18,2 759	18,3 25,87	17,5 25,93	17,0 25,89	16,4 25,91	15			S W 3	5	B	
"	前 7,50	U	18,2 759	18,4 26,05	17,4 26,07	16,7 25,99	16,8 25,89	14			S W 2	10	B	
"	前 6,55	T	18,5 759	17,0 26,03	17,0 25,97	16,9 25,93	16,6 25,93	15,8 25,90	12		S W 1	10	C	
"	前 5,40	S	17,7 759,5	17,6 26,21	17,0 26,13	16,3 26,05	16,3 25,95	15,6 25,93			S S W 1		C	
"	前 4,50	R	18,0 18,0	17,6 25,77	17,0 25,85	16,4 25,77	15,9 25,65			S W 1		B		
"	前 3,00	Q	18,1 18,5	18,1 25,87	17,9 25,97	17,0 25,75	16,5 25,75			S W 1		C		
"	前 1,20	P	18,2 18,5	17,7 25,77	17,7 25,77	17,7 25,95	17,7 25,85	17,0 25,82			S 2		B	
3,19	后 6,15	A	17,2 760,5	16,8 25,85	16,0 21,75	15,5 25,85	15,5 25,72		15	N E 急	N E 1,5	3	B	
"	后 4,50	B	18,3 761	17,3 25,77	16,8 25,75	16,0 25,85	16,0 25,87		15		N E 2	5	B	
"	后 3,55	C	17,8 761	17,2 25,87	17,0 25,95	16,3 25,85	16,3 25,75		14		E 2	10	C	
"	后 3,00	D	18,5 761	18,5 26,07	18,5 26,05	18,1 26,05	17,8 26,17	17,8 25,95	17		N N E 2	10	C	
"	后 2,07	E	17,5 761	18,5 26,32	18,3 26,27	18,2 26,15	17,9 26,15		17		E 2	7	C	
"	后 1,20	F	18,5 761	17,9 26,23	17,5 26,23	17,5 26,21	17,0 26,11		17		N E 2	8	C	
"	后 12,20	G	17,3 26,21	17,2 26,01	16,9 25,98	15,9 26,08			17		N E 2	9	C	
"	前 11,20	H	16,7 762	16,7 26,06	16,5 26,06	16,5 26,16	17,0 26,16		15		N E 2		B	

月 日	時 分	場所	氣 氣 溫 壓	水 溫 及 比 重					透明度	潮流向	風向力	雲量	天氣
				表面	25m	50m	100m	150m					
3,19	前 10,20	1		17,4 25,91	17,3 25,98	17,0 25,98	16,8 25,98	15,5 25,96	16		N E 2	4	B
"	前 9,20	J	16,2 761	17,2 25,96	17,1 26,08	17,1 26,08	16,7 25,98	16,7 26,14	18		N E 2		B
"	前 8,40	K	761	16,8 25,98	16,8 25,92	16,7 26,12	16,4 26,14				N E		
"	前 8,00	L	761	16,8 26,07	16,7 25,97	16,8 26,07	16,5 25,97		17		N NW 2		
"	前 7,30	M	15,0 761	16,8 26,17	16,8 26,12	16,7 26,12	16,4 26,09		16		N NW 2		
"	前 7,00	N		16,6 25,99	16,6 25,94	16,6 26,12	16,4 26,22		13	N W	N E 2		B

四 月 施 行

4,23	前 5,55	X		15,9 762	17,9 26,08	17,9 26,03	17,6 26,16	16,7 26,08	16,1 25,96	17	W	S W 1	10	C
"	前 7,00	W		15,6 762	17,6 26,03	17,6 26,05	17,3 25,96	16,5 26,00	16,3 25,87	17	W	S W 1	10	C
"	前 8,00	V		17,3 762,5	17,7 26,19	17,4 26,05	17,2 26,00	16,4 26,13	16,3 26,16	19			10	C
"	前 9,55	U		17,4 763	17,4 26,05	17,2 26,05	17,1 26,20	16,7 26,30	15,6 26,19	18		S E 2	10	C
"	前 10,00	T		17,4 763,5	19,0 26,20	19,0 26,18	18,3 26,16	15,3 26,12		19		S E 2	10	C
"	前 10,50	S		19,9 764	19,6 26,10	19,3 26,23	19,1 26,25	17,0 26,16	15,5 25,14	19		S E 2	10	C
"	前 11,50	R		19,7 764	19,5 26,25	19,4 26,15	17,5 26,15	15,7 26,06	15,1 26,11	18		S E 3	10	C
"	前 1,30	O		19,5 764	20,1 26,06	20,0 26,15	19,4 26,26	17,6 26,25	15,8 26,21	17		S E 3	10	C
"	前 3,05	P		19,5 764	20,0 26,19	19,3 26,16	18,4 26,26	15,4 26,19	13,8 26,19	17		S E 2	10	C
4,24	前 4,45	A		18,0 763	18,8 26,12	17,3 26,26	17,0 26,26	15,8 26,34			S W 急	S W 2	10	C
"	前 5,45	B		18,8 763,5	19,0 26,22	18,7 26,19	17,9 26,19	16,4 26,09				N N E 2	4	B
"	前 7,00	C		19,4 764	19,7 26,19	18,3 26,26	17,7 26,24	16,8 26,26		14		N N E 2	5	B
"	前 8,00	D			20,1 26,16	20,1 26,26	19,7 26,14	19,8 26,24	17,4 26,34	13		N N E 2	7	C
"	前 9,10	E			20,2 764	18,9 26,19	18,0 26,26	18,2 26,29	17,0 26,39	13,5		E N E 2	7	B
"	前 10,10	F		20,6 765	20,3 26,14	19,8 26,22	19,3 26,19	16,9 26,19		14		E N E 2	8	C

月 日	時 分	場 所	氣 溫 水 壓	水 溫 及 比 重						透明度	潮流向	風向力	雲量	天候
				表層	25m	50m	100m	150m						
4,24	前 11,05	P	20,5 765	19,8 26,33	19,6 25,31	18,9 26,25	16,3 26,21			13		E N E 2	9	C
"	后 0,00	Q	20,0 765	19,5 26,28	19,2 26,25	19,1 26,10	16,5 26,09	16,1 26,17		13,5		E N E 2	10	C
"	后 0,55	R	20,0 765	19,8 26,18	19,3 26,15	18,8 26,18	16,9 26,16	16,4 26,10		14		E N E 2	6	B
"	"	S	21,6 765	20,0 26,03	19,5 26,20	19,0 26,23	17,0 26,19	16,1 26,23		14		E N E 2	5	B
"	后 3,15	T	19,8 764,5	19,6 26,06	19,4 26,16	19,0 26,22	17,8 26,17			16		E N E 2	3	R
"	后 3,49	U	20,6 764,5	19,6 25,17	18,9 26,14	18,0 26,17	16,9 26,06			16,5		E N E 2	3	B
"	后 4,27	V	20,6 764,5	19,7 25,92	19,6 26,10	17,9 26,10	16,5 26,03			16		E N E 2	3	B
"	后 5,00	W	21,1 764,5	19,6 25,94	19,1 26,06	17,9 26,16	16,8 26,12			16,5		E N E 2	3	B

鹿兒島灣定點觀測

鹿兒島灣内沖小島沖に定點を設け毎月一日、十五日の二回を原則として表層二五米、五〇米、七五米、百米の五層の水温、比重、水色透明度、流向、流速、氣象等を観測せり

定點觀測表

月日	時分	氣 水 溫 壓	水温及比重						透明度	潮流向	雲量	風 風 向 力	天候
			0m	25m	50m	75m	100m	平均					
1, 15	10,45	6,0 25,44	16,2 25,61	16,4 25,52	16,9 25,54	17,0 25,56	16,7 25,56	16,64 25,53	16,0	S 下	5	SW 1	B
2, 1	11,00	10,5 26,57	15,0 25,66	15,5 26,53	15,5 26,55	15,5 26,53	15,7 26,53	15,44 26,36	15,0	NW	7	S 3	C
2, 15	10,30	8,9 25,58	16,4 25,78	16,5 25,61	16,1 25,70	15,4 25,62	15,8 25,66	16,04 25,54	15,0	S SE 下	2	NNE 4	B
3, 1	11,35	10,2 25,47	15,3 25,62	15,2 25,54	15,2 25,54	15,1 25,56	15,1 25,56	15,18 25,54	18,0	S 下	3	NW 1	B
3, 15	11,10	9,8 25,55	15,4 25,37	15,0 25,39	14,8 25,35	15,2 25,32	15,4 25,39	15,04 25,89	15,0	SW 下	7	E 1	C
4, 7	11,00	19,0	17,7	16,7	16,7	16,7	16,7	16,9	12,0	N F	1	S 1	B
4, 17	9,45	13,0 25,53	17,1 26,08	17,8 26,12	17,2 25,98	16,3 25,98	15,7 25,97	16,82 25,97	8,0	SW 上	7	NE 1	B
5, 1	9,45	23,7 25,71	19,4 25,87	18,0 26,00	16,7 25,93	17,3 25,99	16,5 25,90	17,58 25,90	9,0	SW 上	5	NE 1	B
5, 15	9,50	23,7 25,69	20,8 25,74	19,4 25,91	18,4 26,04	17,5 26,10	17,2 25,89	18,66 25,89	13,0	NW 下	10	S 1	C
6, 1	9,50	24,7 25,19	22,5 25,95	22,3 25,89	20,3 26,05	19,3 26,25	16,2 25,86	20,16 25,86	18,0	WE 上	4	NW 1	B
6, 15	10,00	22,2 25,43	23,0 25,53	23,4 25,50	21,2 28,70	19,3 25,88	18,2 26,19	21,18 26,19	23,0		10	NE 1	C
7, 1	10,15	27,7 24,77	27,0 25,33	21,2 25,79	18,9 26,46	18,2 25,90	17,7 25,64	20,6 25,64	14,0	S 上	8	SE 1	C
7, 15	9,45	28,5 24,77	27,0 25,33	21,2 25,79	18,9 26,46	18,2 25,90	17,7 25,64	20,6 25,64	14,0	S 上	8	SE 1	C
8, 1	10,28	28,0 24,90	27,9 25,10	28,0 25,23	26,7 25,10	25,9 25,10	22,0 25,47	26,1 25,15	13,0	SE 上	10	E 3	CR
8, 15	9,25	29,2 25,63	27,5 25,63	26,5 25,63	22,0 25,63	19,5 25,67	14,0 25,64	22,1 25,64	13,0	N F	4	S 1	B
9, 1	10,00	28,5 22,83	28,2 22,87	28,0 22,86	26,0 25,28	22,5 25,18	22,9 23,82	25,52 25,52	6,0	N 上	4	NE 3	B
9, 15	9,30	29,7 27,6	27,6 27,6	27,6 26,5	23,9 23,9	19,0 19,0	24,92 24,92	16,0	N 下	8	SW 1	BO	
10, 1	10,00	25,0 24,80	25,7 24,77	25,5 25,36	25,3 25,36	23,9 25,82	17,3 25,15	23,54 25,15	15,0	NW 下	9	NE 1	OB
10, 15	10,00	24,4 26,13	23,8 24,81	24,2 25,19	24,1 25,59	23,0 25,15	22,6 25,25	23,54 25,37	12,0		4	NE 1	B
11, 1	11,15	19,0 24,89	22,6 24,97	22,6 25,53	22,3 25,53	20,5 25,53	17,5 25,81	21,1 25,28	12,0		4	NE 1	C
11, 15	10,50	20,7 25,11	21,0 25,1	21,2 25,50	27,1 25,35	21,0 25,61	20,7 25,33	22,2 25,33	10,0	SW 下	8	N 2	B
12, 1	10,35	17,0 25,22	20,3 25,32	20,3 25,32	20,3 25,29	20,0 25,25	19,9 25,25	20,16 25,28	15,0	N 上	0	N 2	B
12, 15	10,00	12,8 25,53	18,5 25,50	19,1 25,48	19,1 25,38	19,0 25,45	19,3 25,38	19,0 25,38	15,0	SW 下	2	N 2	B

昭和八年度水温ト平年水温トノ比較表

昭和八年度比重ト平年比重トノ比較表

海洋觀測

最	高	○	米	二	五	米
低	(二月上旬) 云、毛 (九月上旬) 三、全	(四月中旬) 云、火 (九月上旬) 三、全	(二月上旬) 云、墨 (九月上旬) 三、公	(六月中旬) 云、吉 (十一月上旬) 云、元	(二月上旬) 云、墨 (十月月中旬) 云、墨	一〇〇米

最	高	○ 米
低	(九月上旬) 二八、二	二五米
(二月上旬) 一五、〇	(九月上旬) 三八、〇	五〇米
(三月中旬) 二五、〇	(十一月上旬) 三七、一	七五米
(三月中旬) 一四、八	(八月上旬) 三三、九	一〇〇米
(三月上旬) 一五、一	(九月上旬) 三三、九	
(三月上旬) 一五、一	(三月上旬) 一五、一	

本年中に於ける最高最低比重

昭和十年三月廿五日印刷

昭和十年三月三十日發行

鹿兒島縣水產試驗場

鹿兒島市泉町四番地

印所人 馬 場 彥 太 郎

鹿兒島市泉町四番地

印刷所 合名會社 馬 場 印 刷 所
電話八四〇番